編　集

■ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明をしています。
録画したオリジナルのタイトルからプレイリストを作成したり、録画したタイトルを消去してディスクの空き容量を増やしたりすることができます。（**78**〜**103**ページ）

- VRモードで録画した場合、プレイリストとオリジナルでいろいろな編集ができます。
- ビデオモードで録画した場合、タイトル名の変更やタイトルの消去ができます。

■ビデオテープの映像をディスクに編集（ダビング）したり、ディスクの映像をビデオテープに編集（ダビング）したりすることができます。（**104**〜**107**ページ）

DVDの編集について

録画したディスクを編集するとき必要な情報について説明します。
記録するフォーマット（VRモードとビデオモード）により、編集できる内容や操作が異なります。

編集するときのご注意

- 他のDVDレコーダーで編集してチャプターマークが201以上あるディスクでは、本機で編集や録画の操作はできません。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクや、ディスク保護が設定されているディスクでは、編集や録画の操作はできません。
- 本機はフレーム単位での編集ができないため、次のような場合があります。
  - チャプターマークの追加やシーン消去などの編集を行ったとき、編集画面と実際の画面では、最大0.5秒のズレが出たり、ディスクナビ画面に異なった画面が表示されることがあります。
  - 他のDVDレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを本機で再生すると、開始や終了のシーンがずれたり、ディスクナビ画面に異なった画面が表示されることがあります。
- 他のDVDレコーダーでディスク容量いっぱいに録画したディスクでは、本機で編集の操作ができない場合があります。

VRモードで編集する（オリジナルとプレイリスト）

VRモードで録画した映像には、オリジナルでの編集とプレイリストでの編集の2つの方法があります。

オリジナルとは

実際に録画したそのままの映像です。オリジナルのタイトルを消去すると、ディスクの空き容量が増えます。オリジナルの映像を消去すると、その映像をもとに作ったプレイリストも消去されます。タイトルは、「99」まで作成できます。

■オリジナルでは次のような編集ができます。

- タイトルに名前をつける☞（**95**ページ）
- タイトル内のシーンを消去する☞（**96**ページ）
- チャプターマークを追加・消去する☞（**97**・**98**ページ）
- ディスクナビ画面を変更する☞（**99**ページ）
- タイトルを保護する☞（**100**ページ）
- 録画したタイトルを消去する☞（**102**・**103**ページ）

プレイリストとは

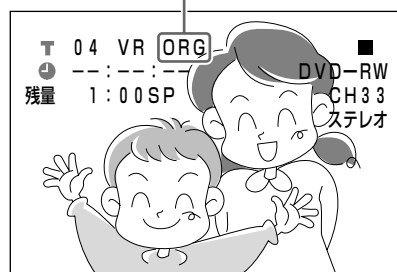
実際に録画したオリジナルの映像をもとに作成するタイトルです。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報だけを記録します。そのため、プレイリストの映像を消去してもオリジナルの映像はなくなりません。また、少ないディスクスペースで編集を行うことができるため、まずプレイリストで編集を楽しむことをおすすめします。

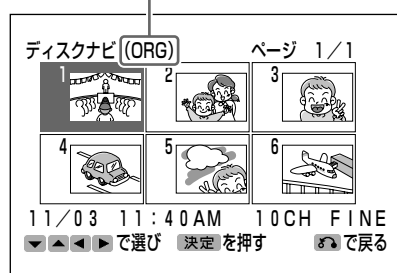
■プレイリストでは次のような編集ができます。

- オリジナルからタイトルをコピーして作成する☞（**80**ページ）
- オリジナルのシーンをコピーしてタイトルを作成する☞（**81**ページ）
- タイトルに名前をつける☞（**83**ページ）
- タイトル内のシーンを消去する☞（**84**ページ）
- チャプターマークを追加・消去する☞（**86**・**87**ページ）
- タイトルの順番を変える☞（**89**ページ）
- オリジナルからシーンを追加する☞（**90**ページ）
- ディスクナビ画面を変更する☞（**92**ページ）
- タイトルを消去する☞（**93**・**94**ページ）

オリジナルとプレイリストを切り換えるには

オリジナル／プレイリストボタンを押します。
電源が入っている状態でオリジナル／プレイリストボタンを押すと、テレビ画面に「ORG」（オリジナルの操作状態）か「PL」（プレイリストの操作状態）が表示されます。

「ORG」または「PL」

ディスクナビ画面でオリジナル／プレイリストボタンを押すと、「ORG」と「PL」表示が切り換わります。「ORG」には、オリジナルタイトルが一覧で表示されます。「PL」には、プレイリストタイトルが一覧で表示されます。

「ORG」または「PL」

ご注意

- プレイリストを作成していないと、「ORG」、「PL」の切り換えはできません。

ビデオモードで編集する

ビデオモードでは、次の編集操作ができます。ただし、ファイナライズ（**119**ページ）を行ったディスクは編集できません。ビデオモードには、プレイリストはありません。

- タイトルに名前をつける☞（**95**ページ）
- 録画したタイトルを消去する☞（**102**・**103**ページ）

※ ビデオモードで録画した場合の「タイトル消去」は、再生時にそのタイトルが見えなくなるように設定するためのもので、実際に映像が消去されるわけではありません。（空き時間は増えません。ただし、ビデオモードで録画したDVD-RWで、最後に録画したタイトルを消去したときに限り、空き時間が増えます。）

※ ファイナライズするまでは、本機のみにて追加録画、編集が可能です。

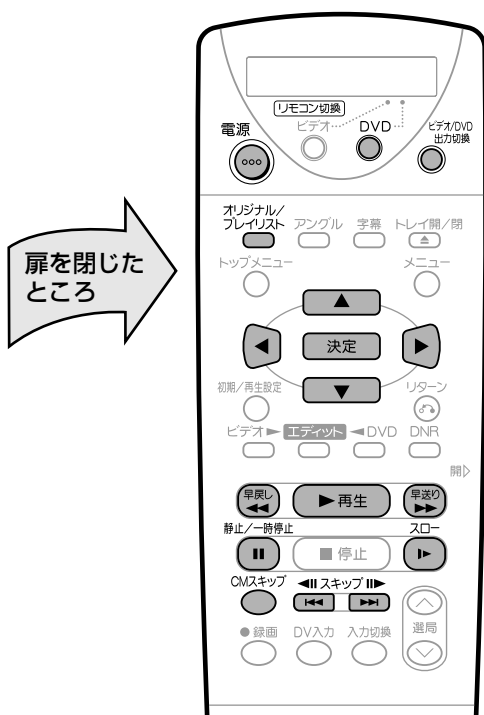
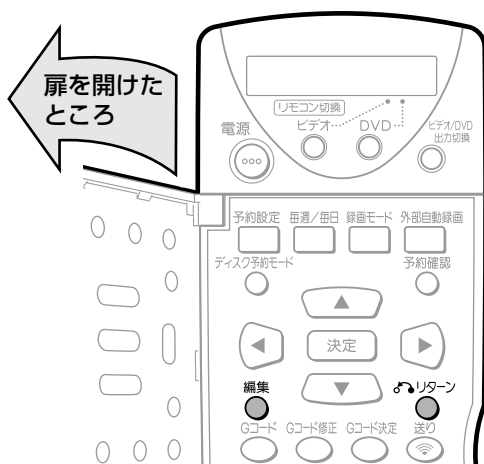
プレイリストを作成する

■プレイリストで編集を行うには、最初にオリジナルタイトルからプレイリストを作成します。プレイリストは99タイトルまで作成することができます。
■DVD-RW(ビデオモード)とDVD-Rのディスクでは、プレイリストの作成はできません。

編集操作で手順1〜4の説明は、特に必要のない限り80ページ以降では記載していません。

オリジナルのタイトルから作る

DVD-RW VRモード

オリジナルをタイトル単位で選び、新しいプレイリストのタイトルを作成することができます。

1 ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2 電源 を押し、本機の電源を入れる

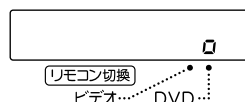
- 本機は再生や録画の操作に応じて、自動的にDVD側とビデオ側の出力を切り換える機能を備えています。ただし、操作や本機の状態によっては、切り換えたい方の出力にならない場合があります。このときは、手順3の操作で出力を切り換えてください。

3 ビデオ/DVD出力切換 を押し、「DVD出力」にする

本体のDVD出力ランプが点灯(緑色)します。

- ボタンを押すたびに、「DVD出力」↔「ビデオ出力」と切り換わります。

4 リモコン切換 DVD を押し、操作モードを「DVD」にする

- リモコン表示部のDVDボタン線上に▯マークが表示されます。

5 ① 停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する

- オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

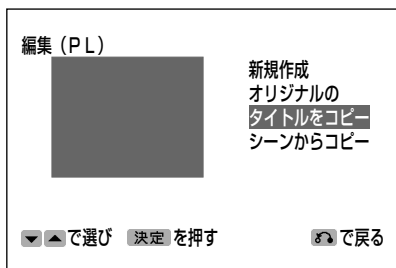
② オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える

- プレイリストが1つもない場合、「NEW」表示のタイトル枠が表示されます。

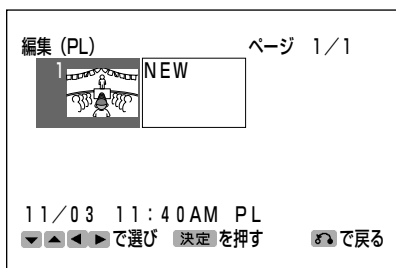
次ページの手順へつづく

6 ① 「NEW」表示のタイトル枠で 決定 を押す

● プレイリスト作成画面になります。
● すでにプレイリストがある場合は、▲ ▼ ◀ ▶ で「NEW」表示のタイトル枠を選んでから、決定ボタンを押します。

② ▲ または ▼ で「タイトルをコピー」を選び、決定 を押す

● オリジナルのタイトルが一覧表示されます。

7 ▲ ▼ ◀ ▶ でコピーしたいタイトルを選び、決定 を押す

● 新しいプレイリストのタイトルが作成されます。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

● チャプターマークは、録画時や編集時に自動的に作成されたマークのみがコピーされます。
● オリジナルのタイトル名や変更したナビマークの情報はコピーされません。

オリジナルの一部から作る

DVD-RW VRモード

オリジナルから映像の一場面（シーン）を選んで、新しいプレイリストのタイトルを作成することができます。オリジナルから選ぶシーンは、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1 ① 停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する

● オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト（PL）の編集画面に切り換える

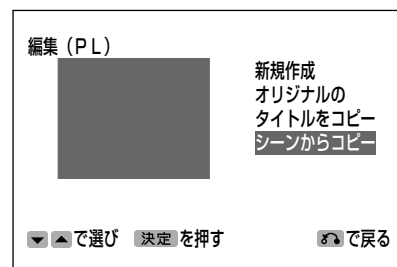
● プレイリストが1つもない場合、「NEW」表示のタイトル枠が表示されます。

2 ① 「NEW」表示のタイトル枠で 決定 を押す

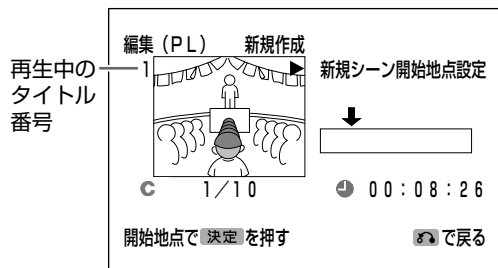
● プレイリスト作成画面になります。
● すでにプレイリストがある場合は、▲ ▼ ◀ ▶ で「NEW」表示のタイトル枠を選んでから、決定ボタンを押します。

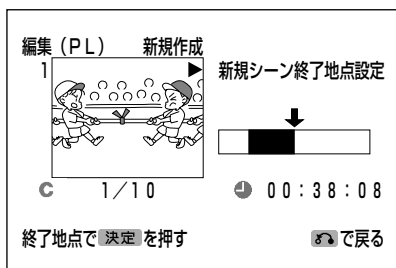
② ▲ または ▼ で「シーンからコピー」を選び、決定 を押す

● オリジナルの映像が再生されます。

次ページの手順へつづく

プレイリストを作成する（つづき）

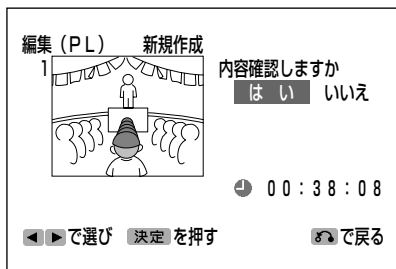
3 コピー開始地点を探し、決定を押す

- 各操作ボタン「▶再生、静止／一時停止、早送り、早戻し、◀◀スキップ、スキップ▶▶、CMスキップ、スロー」を使い、場面を探してから決定ボタンを押します。

4 コピー終了地点を探し、決定を押す

- コピーする部分（シーン）が決まります。

5

■設定した内容を確認するときは

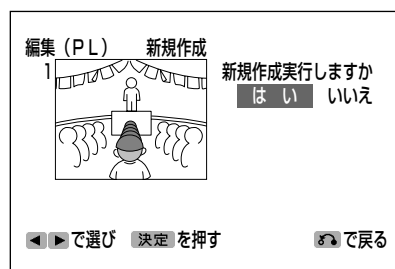
◀で「はい」を選び、決定を押す

- 設定した範囲の映像が再生されます。

■内容を確認しないときは

▶で「いいえ」を選び、決定を押す

- 次の手順に進みます。

6 ◀で「はい」を選び、決定を押す

- 新しいプレイリストのタイトルが作成されます。

- ▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押すと、新しいプレイリストは作成されません。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

- 手順**3**でCMスキップボタンを押すと、約5分ぶんの内容をスキップさせることができます。シーンを早く飛ばしたいときに便利です。連続して4回まで押すことができ、約20分ぶんの内容を一度にスキップできます。
- スキップ操作は、同じタイトル内で行ってください。

シーンの最終選択について

- 一時停止したシーンからスローボタンを押し、スロー再生をして開始地点や終了地点のシーンを選びます。

ご注意

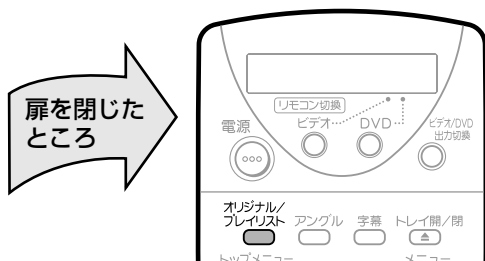
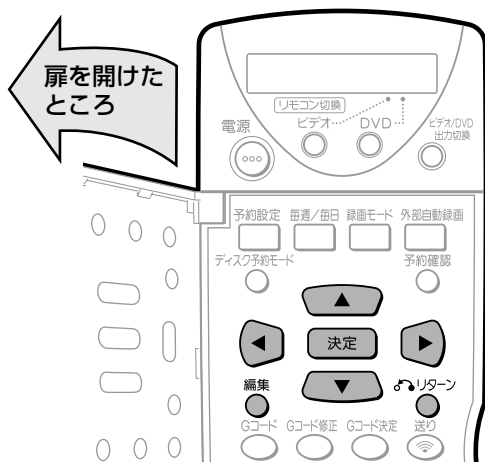
- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
- 5秒未満のシーンはコピーできません。
- 手順**3**で開始地点を設定した後、早戻し◀◀ボタンやスキップ|◀◀ボタンを押して開始地点より前に戻ると、開始地点が解除されます。

プレイリストを編集する

■作成したプレイリストを編集します。
場面の追加や移動、消去を行っても、オリジナルのタイトルには影響ありません。
■DVD-RW(ビデオモード)とDVD-Rのディスクでは、プレイリストの編集はできません。

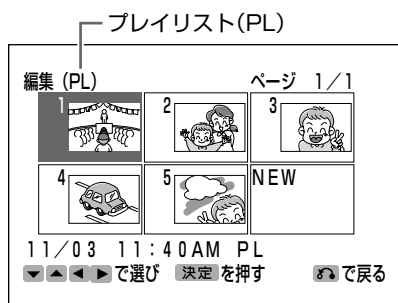
タイトル名を入力・変更する

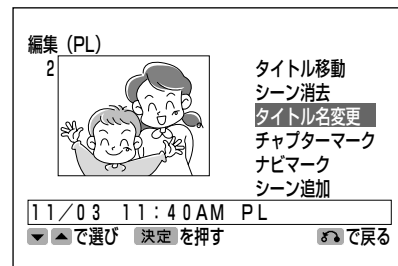
DVD-RW VRモード

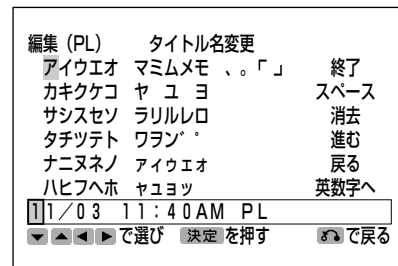
プレイリストのタイトルに名前をつけたり、変更したりすることができます。
入力できる文字数は、最大24文字までです。

1 ① **停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する**

● オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② **オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える**

プレイリスト(PL)

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で名前を入力・変更したいタイトルを選び、決定 を押す**

3 **▲ または ▼ で「タイトル名変更」を選び、決定 を押す**

● タイトル名変更画面が表示されます。

4 **▲ ▼ ◀ ▶ でタイトル名を入力・変更し、決定 を押す**

● タイトル名の入力・変更について詳しくは、「文字入力のしかた」(**84**ページ)をご覧ください。

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

● 他のDVDレコーダーで付けたタイトルが本機で表示できない文字(漢字など)の場合は、「＊＊＊＊・・・・」(最大24文字分)の表示となります。

次ページへつづく

プレイリストを編集する(つづき)

文字入力のしかた

編集 (PL)　　タイトル名変更
アイウエオ　マミムメモ　、。「」　終了
カキクケコ　ヤ　ユ　ヨ　スペース
サシスセソ　ラリルレロ　消去
タチツテト　ワヲン゛゜　進む
ナニヌネノ　ァィゥェォ　戻る
ハヒフヘホ　ャュョッ　英数字へ
1 1／03　11：40AM　PL
▼▲◀▶で選び　決定 を押す　で戻る

① ▲ ▼ ◀ ▶ で文字や文字の種類、動作を選ぶ

- 「動作」には次のようなものがあります。
  - 終了　：タイトル入力を終了します。
  - スペース：空白を入力します。
  - 消去　：カーソル上の文字を1つずつ消します。
  - 進む　：カーソルを先へ進めます。
  - 戻る　：カーソルを前に戻します。
  - 英数字へ：文字の種類をカタカナから英数字へ切り換えます。（英数字が表示されているときは「カタカナ」の表示になります。）

② 決定 を押す

③ 手順①～②をくり返し、1文字ずつ入力する

- 入力できる文字数は、最大24文字までです。

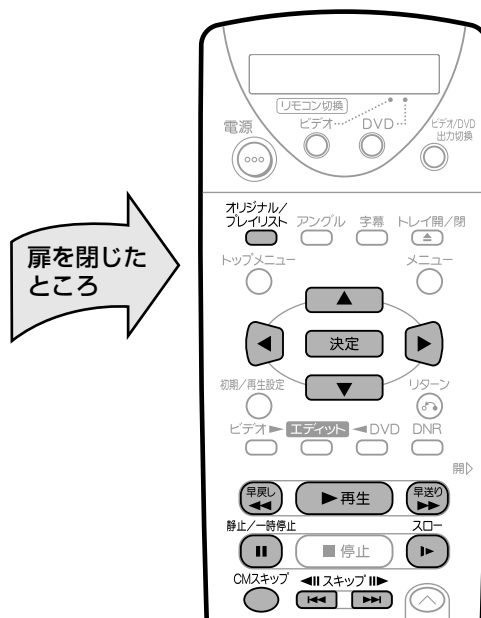
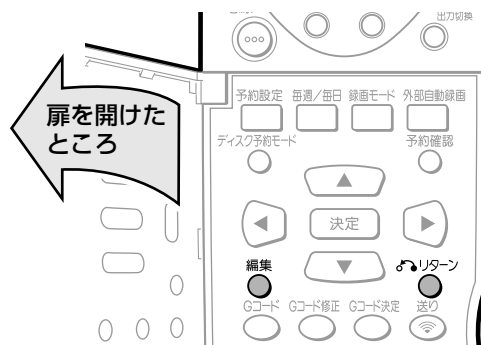
④ ▲ ▼ ◀ ▶ で「終了」を選び、決定 を押す

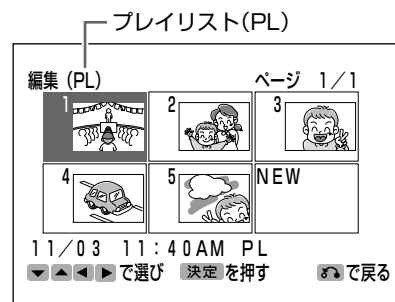
選んだ場面を消去する(シーン消去)

DVD-RW VRモード

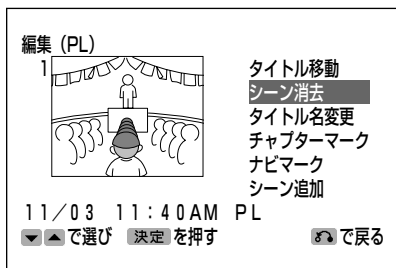
プレイリストのタイトルから、選んだ場面(シーン)を消去することができます。
シーンを消去したところには、チャプターが自動的に区切られます。

1

① 停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する

- オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える

次ページの手順へつづく

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で編集するタイトルを選び、決定を押す

3 ▲ または ▼ で「シーン消去」を選び、決定を押す

- 選んだタイトルが再生されます。

4 消去開始地点を探し、決定を押す

- 各操作ボタン「▶再生」、「静止/一時停止」、「早送り」、「早戻し」、「スキップ」、「スキップ」、「CMスキップ」、「スロー」を使い、場面を探してから決定ボタンを押します。

5 消去終了地点を探し、決定を押す

- 消去するシーンが決まります。

6

■設定した内容を確認するときは

◀で「はい」を選び、決定を押す

- 消去するシーンを抜いたタイトルが再生されます。

■内容を確認しないときは

▶で「いいえ」を選び、決定を押す

- 次の手順に進みます。

7 ◀で「はい」を選び、決定を押す

- 選んだシーンが消去されます。

- ▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押すと、シーンは消去されません。

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

- 1タイトルにつき50回まで、シーンの追加やシーンの消去を行うことができます。
  他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、再生および初期化以外の操作が行えません。

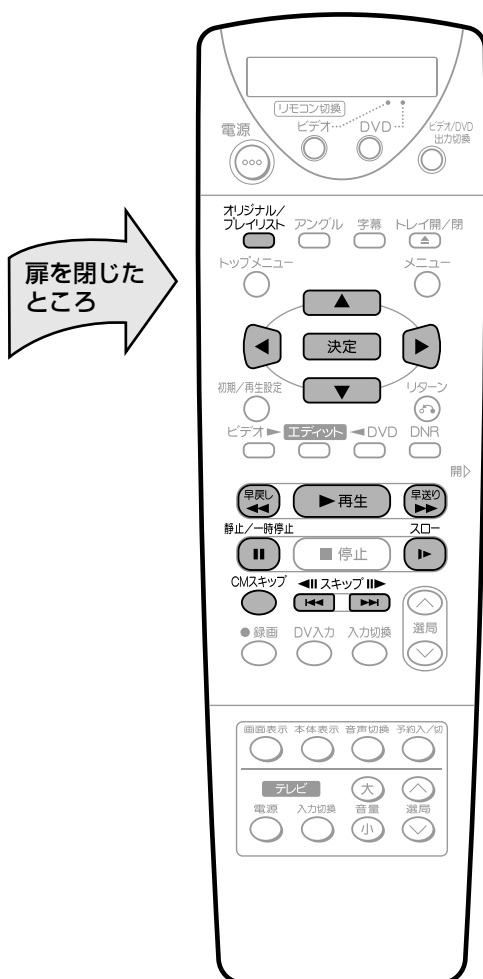
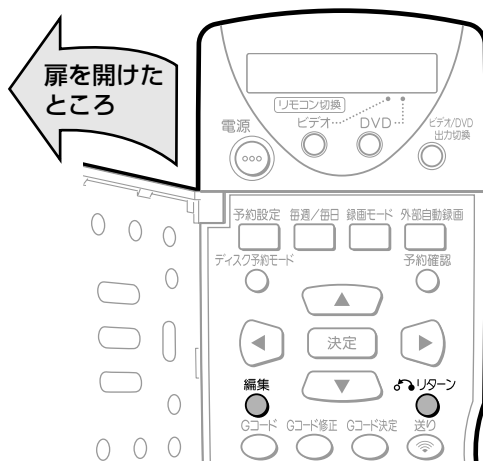
ご注意

- 5秒未満のシーン消去はできません。
- 消去開始地点と終了地点としてタイトルの始まりと終わりの5秒間の場面は選べません。
  タイトルの始まりから5秒後までの場面を開始地点として選ぶと、タイトルの始まりが開始地点になります。
  タイトルの終わりから5秒前までの場面を開始地点や終了地点として選ぶと、タイトルの最後から5秒前が開始地点や終了地点になります。
  タイトルの最後を選んだときは、最後の地点が終了地点として選ばれます。
  また、シーンの追加やシーンの消去などをして自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間も、消去開始地点と終了地点として選べません。

プレイリストを編集する(つづき)

チャプターを区切る(チャプターマーク追加)

DVD-RW VRモード

プレイリストのタイトルにチャプターマークを追加して、チャプターで区切ることができます。オリジナルのタイトルには影響ありません。

1

① 停止中に編集を押し、編集画面を表示する

● オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリストを押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える

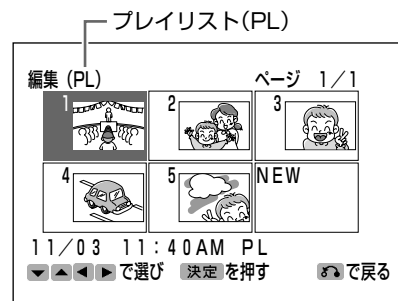
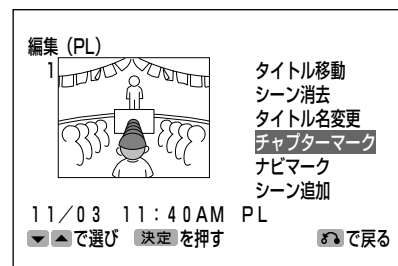
2

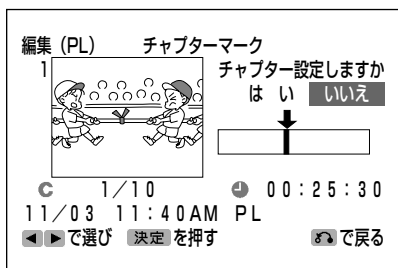
▲ ▼ ◀ ▶で編集するタイトルを選び、決定を押す

3

▲または▼で「チャプターマーク」を選び、決定を押す

● 選んだタイトルが再生されます。

次ページの手順へつづく

4 チャプターマークを追加したい場面を探し、追加したい場面で[決定]を押す

- 各操作ボタン「[►再生]、[静止/一時停止]、[早送り]、[早戻し]、[◄II スキップ]、[スキップ II►]、[CMスキップ]、[スロー]」を使い、場面を探してから決定ボタンを押します。
- 再生中の映像が一時停止し、追加したチャプターマークがオレンジ色で表示されます。

5 [◄]で「はい」を選び、[決定]を押す

- 追加したチャプターマークが青色で表示されます。
- チャプターマークを追加する場面を変更したいときは、[►]で「いいえ」を選び、決定ボタンを押して手順**4**に戻します。
- 他にもチャプターマークを追加するときは、手順**4**～**5**をくり返します。

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

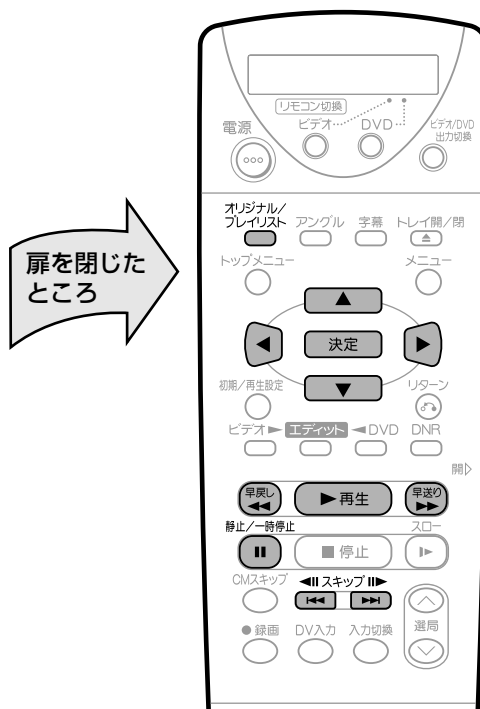
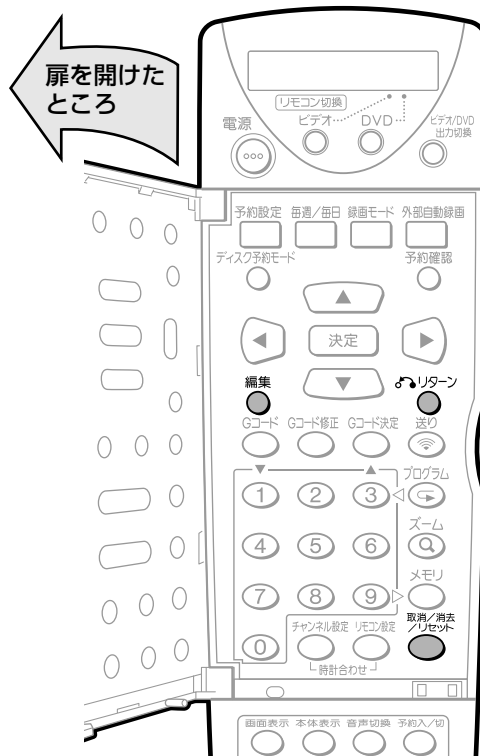
編集ボタンを押します。

ご注意

- チャプターマークと追加したいチャプターマークとの間は5秒以上あけてください。チャプターマークの間隔が短いと、チャプターマークを追加できません。

2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプターマーク消去）

DVD-RW VRモード

プレイリストの編集操作で追加したチャプターマークを消去して、2つのチャプターを1つのチャプターにすることができます。

次ページへつづく

プレイリストを編集する(つづき)

1

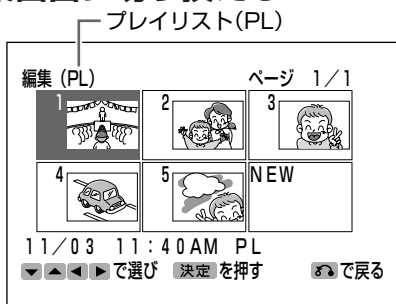
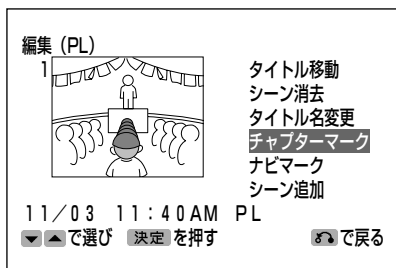
① **停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する**

- オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② **オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える**

2

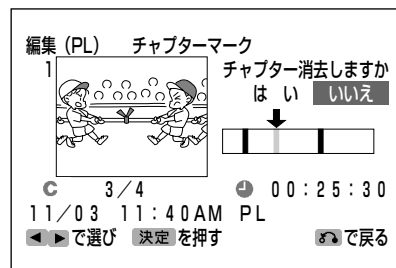
▲ ▼ ◀ ▶ で編集するタイトルを選び、決定 を押す

3

▲ または ▼ で「チャプターマーク」を選び、決定 を押す

- 選んだタイトルが再生されます。

4

消去したいチャプターマーク(青色)のあるチャプターを再生中に、取消/消去/リセット を押す

- 各操作ボタン「▶再生」、「静止/一時停止」、「早送り」、「早戻し」、「◀◀スキップ」、「スキップ▶▶」を使い、場面を探してから取消/消去/リセットボタンを押します。
- 再生中の映像がチャプターの先頭の場面に戻り、チャプターマークがオレンジ色に変わります。
- 赤色のチャプターマークは選べません。

5

◀ で「はい」を選び、決定 を押す

- チャプターマークが消去され、前のチャプターと結合されます。
- 消去したいチャプターマークを変更したいときは、▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押して手順**4**に戻します。
- 他にもチャプターマークを消去するときは、手順**4**～**5**をくり返します。

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

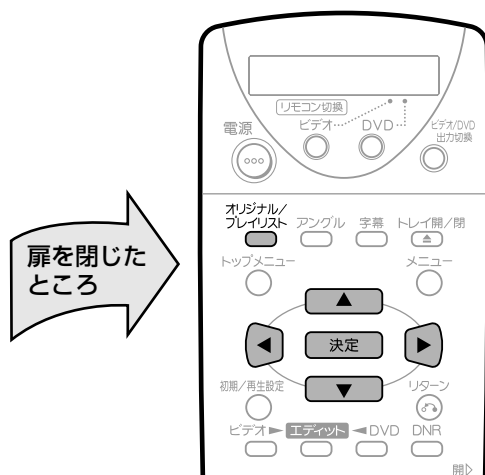
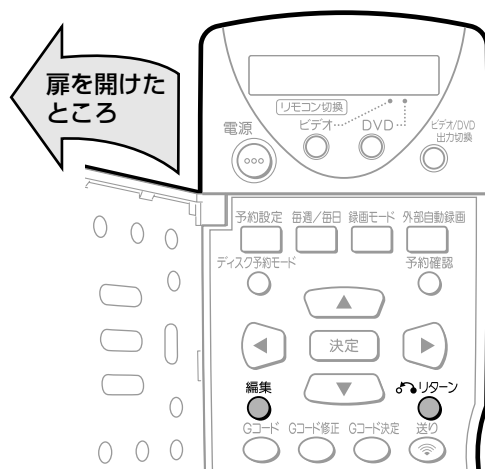
ご注意

次のチャプターマークは赤色で表示され、消去できません。

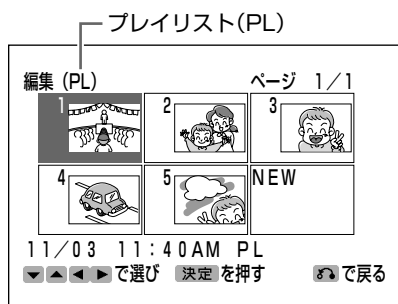
- 録画のとき、自動的に設定されたタイトルの先頭にあるチャプターマーク。
- 「シーン消去」(**84**ページ)で自動的に設定されたチャプターマーク。
- 「シーン追加」の操作を行い、自動的に追加されたチャプターマーク。

タイトルを移動する

DVD-RW VRモード

作成したプレイリストのタイトルの並び順を変更することができます。

1 **① 停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する**

- オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で移動するタイトルを選び、決定 を押す**

3 **▲ または ▼ で「タイトル移動」を選び、決定 を押す**

4 **▲ ▼ ◀ ▶ でタイトルの移動先を選び、決定 を押す**

(タイトル3を選んでいて、移動先カーソルをタイトル1に選んだ場合の画面例)

- 選択したタイトルより、前を移動先として選んだとき
  移動先として選んだタイトルの直前にタイトルが移動します。
  [例] タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル1を選んだ場合は、1の前に3のタイトルが移動します。
- 選択したタイトルより、後を移動先として選んだとき
  移動先として選んだタイトルの直後にタイトルが移動します。
  [例] タイトル3を選んでいて、移動先としてタイトル4を選んだ場合は、4の後に3のタイトルが移動します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

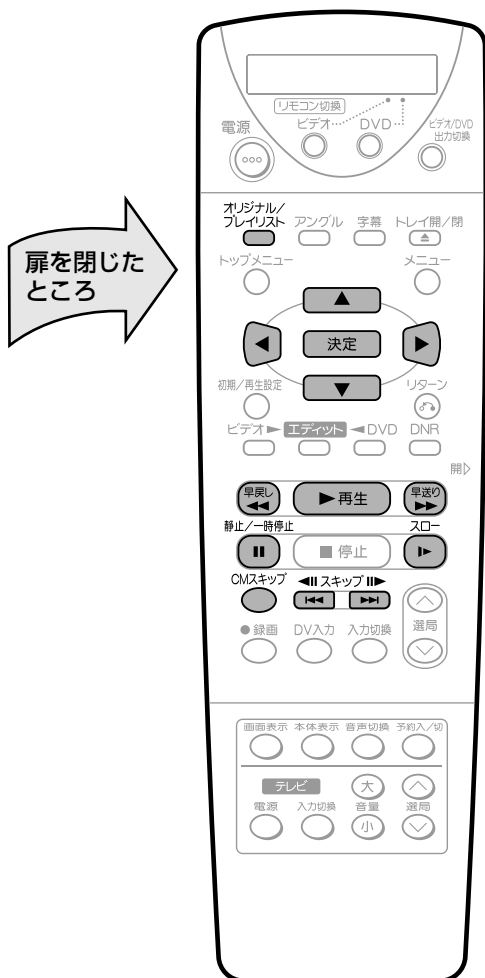
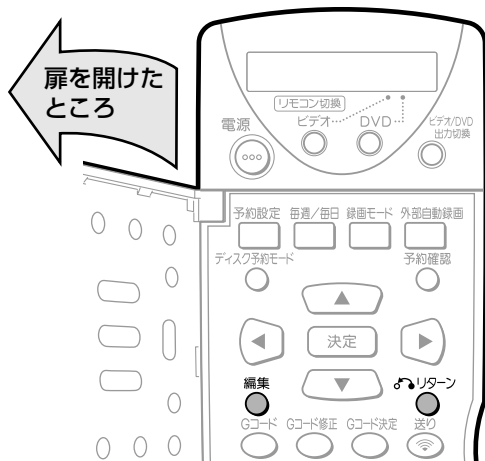
ご注意

- プレイリストを2つ以上作成していない場合、タイトルの移動はできません。

プレイリストを編集する(つづき)

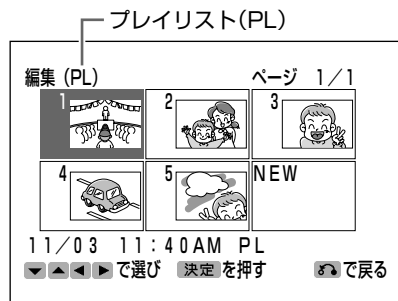
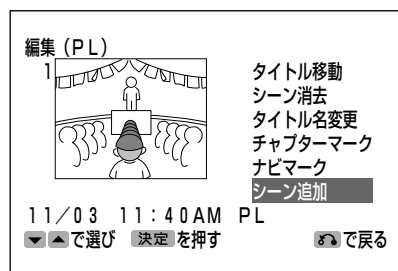
オリジナルから場面を追加する(シーン追加)

DVD-RW VRモード

オリジナルから映像の範囲(シーン)を選んで、プレイリストのタイトルの最後にそのシーンを追加します。オリジナルで選ぶシーンは、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1 **① 停止中に編集を押し、編集画面を表示する**

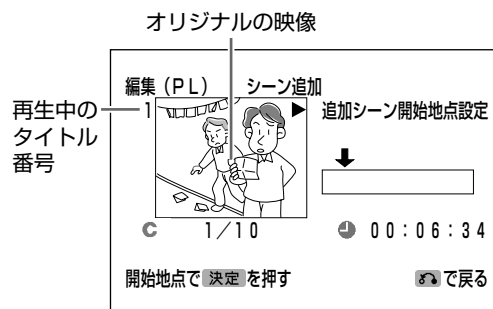
- オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリストを押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で編集するタイトルを選び、決定を押す**

3 **▲ または ▼ で「シーン追加」を選び、決定を押す**

- オリジナルのタイトルが再生されます。

4 **追加したいシーンを探し、追加したいシーンになったら決定を押す**

- 各操作ボタン「▶再生、静止/一時停止、早送り、早戻し、◀IIスキップ、スキップII▶、CMスキップ、スロー」を使い、場面を探してから決定ボタンを押します。

次ページの手順へつづく

5 追加したいシーンの終わりを探し、追加したいシーンの終わりになったら 決定 を押す

● 追加するシーンが決まります。

6
■設定した内容を確認するときは

◀で「はい」を選び、決定 を押す

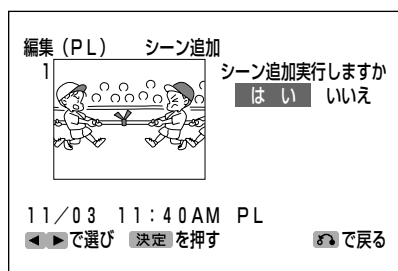
● 設定した範囲の映像が再生されます。

■内容を確認しないときは

▶で「いいえ」を選び、決定 を押す

● 次の手順に進みます。

7 ◀で「はい」を選び、決定 を押す

● 手順**2**で選んだタイトルの最後にシーンが追加されます。

● ▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押すと、シーンは追加されません。

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

● シーンを追加した箇所（開始地点）には、チャプターマークが自動的に入ります。
● 1タイトルにつき50回まで、シーンの追加やシーンの消去を行うことができます。
　他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、再生および初期化以外の操作が行えません。

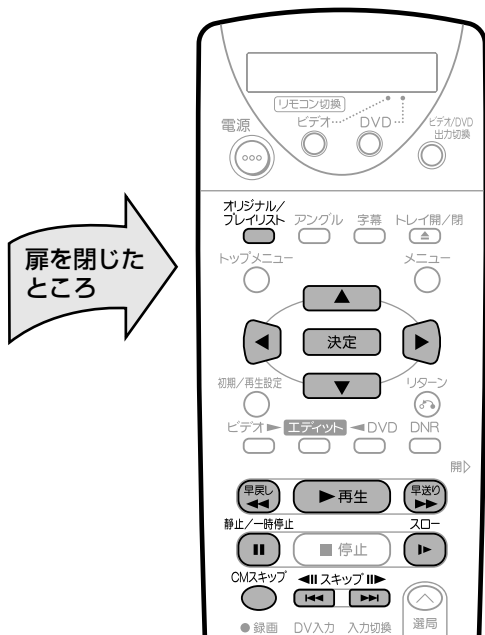
ご注意

● 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬映像が停止しているように見えることがあります。
● 5秒未満のシーンは追加できません。
● 手順**4**で開始地点を設定した後、早戻し◀◀ボタンやスキップ|◀◀ボタンを押して開始地点より前に戻ると、開始地点が解除されます。

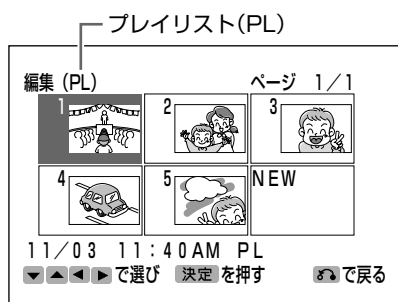
プレイリストを編集する(つづき)

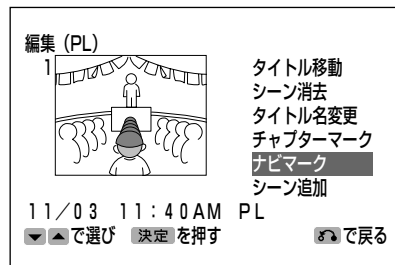
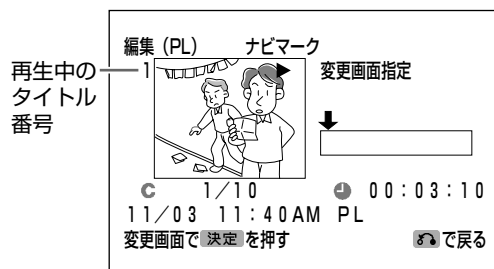
ディスクナビ画面を変更する

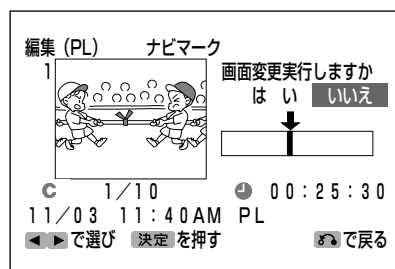
DVD-RW VRモード

プレイリストのディスクナビ画面で、一覧表示される各タイトルの画面をお好みのシーンに変更することができます。

1 ① **停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する**

- オリジナル(ORG)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② **オリジナル/プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)の編集画面に切り換える**

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で編集するタイトルを選び、決定 を押す**

3 **▲ または ▼ で「ナビマーク」を選び、決定 を押す**

- 選んだタイトルが再生されます。

4 **ディスクナビ画面にしたいシーンで 決定 を押す**

- 各操作ボタン「▶再生、静止/一時停止、早送り、早戻し、◀II スキップ、スキップ II▶、CMスキップ、スロー」を使い、場面を探してから決定ボタンを押します。
- 再生中の映像が一時停止になります。

5 **◀ で「はい」を選び、決定 を押す**

- 選んだシーンがディスクナビ画面に決まります。
- シーンを選びなおしたいときは、▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押して手順**3**に戻します。

前の画面に戻るときは

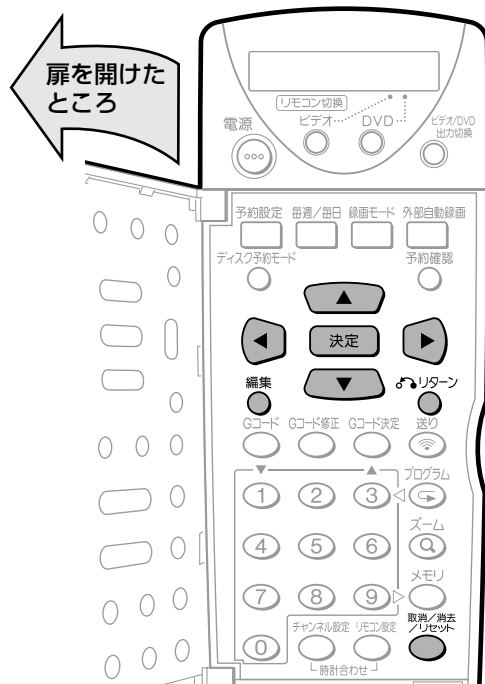
リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

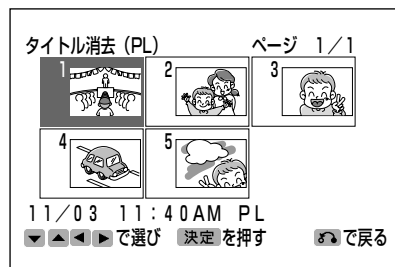
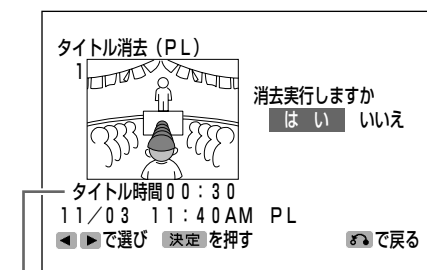
1つのタイトルを消去する

DVD-RW VRモード

プレイリストのタイトルをタイトル単位で消去します。オリジナルのタイトルには影響ありません。

1 **① 停止中に 取消／消去／リセット を押し、タイトル消去画面を表示する**

- オリジナル(ORG)のタイトル消去画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル／プレイリスト を押し、プレイリスト(PL)のタイトル消去画面に切り換える

2 **▲ または ▼ で「1タイトル消去」を選び、決定 を押す**

3 **▲ ▼ ◀ ▶ で消去するタイトルを選び、決定 を押す**

4 **◀ で「はい」を選び、決定 を押す**

- 選んだタイトルが消去されます。
- 「いいえ」を選ぶときは ▶ を押します。

消去するタイトルの録画時間

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

消去画面を消すときは

編集ボタンを押します。

再生中のタイトルを消去するときは

再生中に取消／消去／リセットボタンを押すと、手順**4**の画面表示になります。手順**4**の操作で再生中のタイトルを消去できます。

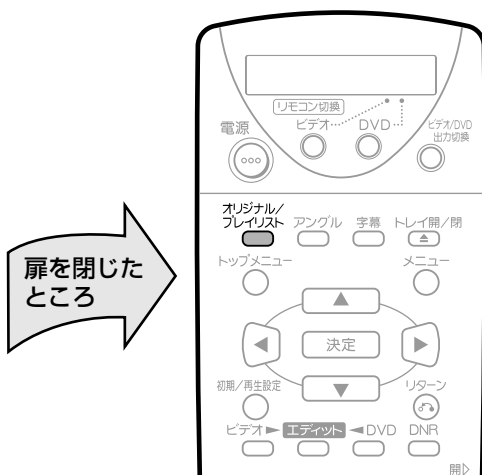
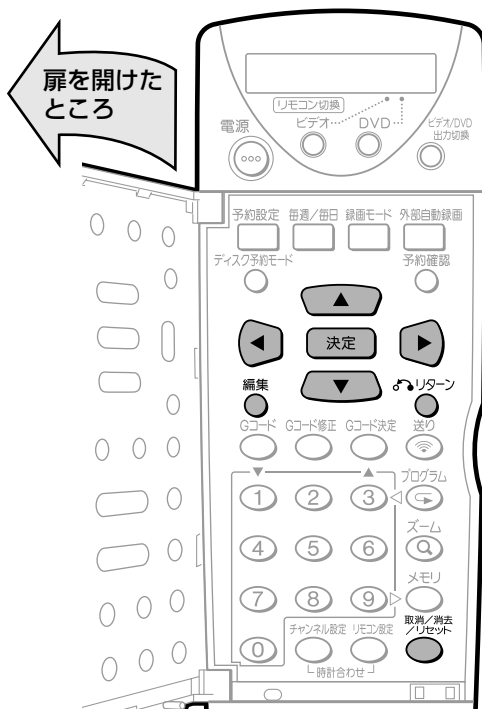
ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。

プレイリストを編集する(つづき)

すべてのタイトルを消去する

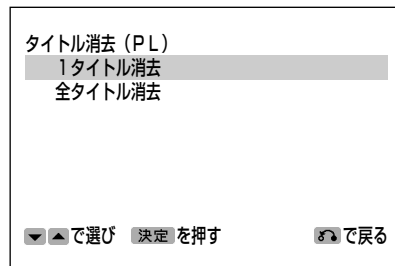
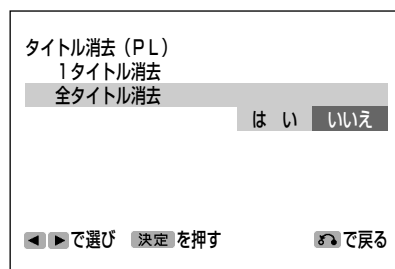
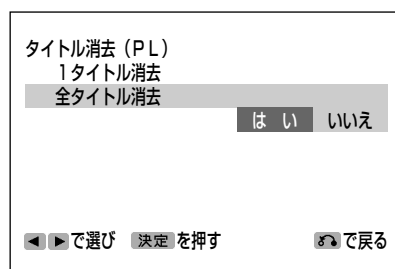
DVD-RW VRモード

プレイリスト内のすべてのタイトルを消去します。オリジナルのタイトルには影響ありません。

1 **① 停止中に［取消／消去／リセット］を押し、タイトル消去画面を表示する**

- オリジナル(ORG)のタイトル消去画面が表示されたときは、次の操作をします。

② ［オリジナル／プレイリスト］を押し、プレイリスト(PL)のタイトル消去画面に切り換える

2 **［▲］または［▼］で「全タイトル消去」を選び、［決定］を押す**

3 **［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す**

- プレイリストのすべてのタイトルが消去されます。
- 「いいえ」を選ぶときは［▶］を押します。

消去画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもオリジナルには影響がないため、ディスクの空き容量は増えません。

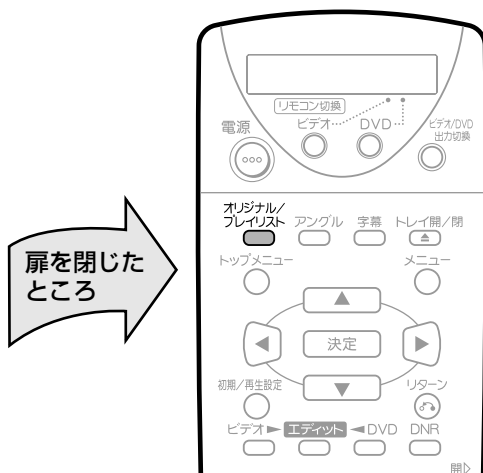
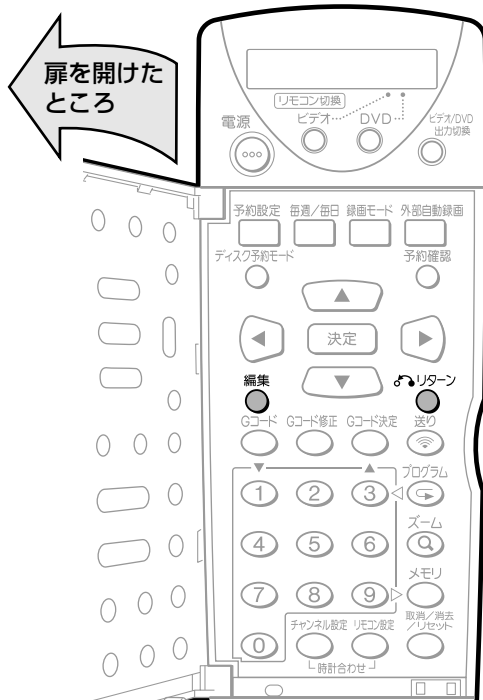
オリジナルを編集する

■実際に録画したオリジナルのタイトルを編集します。不要なタイトルを消去してディスクの空き時間を増やしたり、いらないシーンを消したり、タイトルを誤って消去したりしないよう保護することができます。

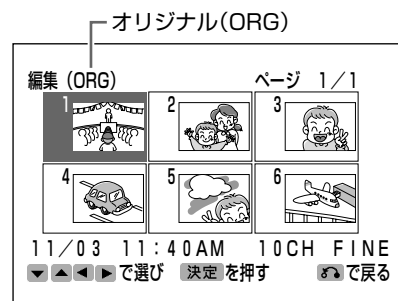
■オリジナルのタイトルやシーンを消去すると、オリジナル映像をもとに作成したプレイリストにも影響がでますので、ご注意ください。

タイトル名を入力・変更する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

オリジナルのタイトルに名前をつけたり、変更したりすることができます。
入力できる文字数は、最大24文字までです。

1 **① 停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する**

- プレイリスト(PL)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリスト を押し、オリジナル(ORG)の編集画面に切り換える

2 **「プレイリストを編集する」の「タイトル名を入力・変更する」(83ページ)の手順2〜4と同じ操作を行い、タイトル名を入力・変更する**

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

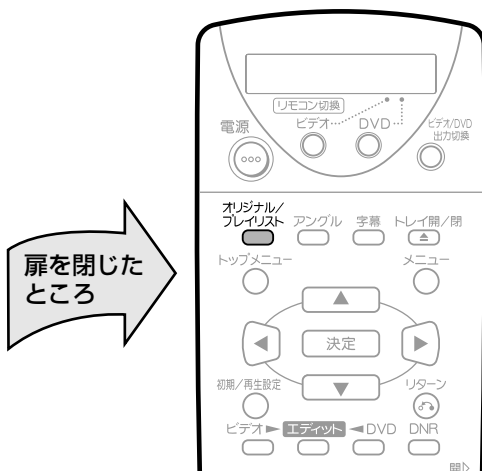
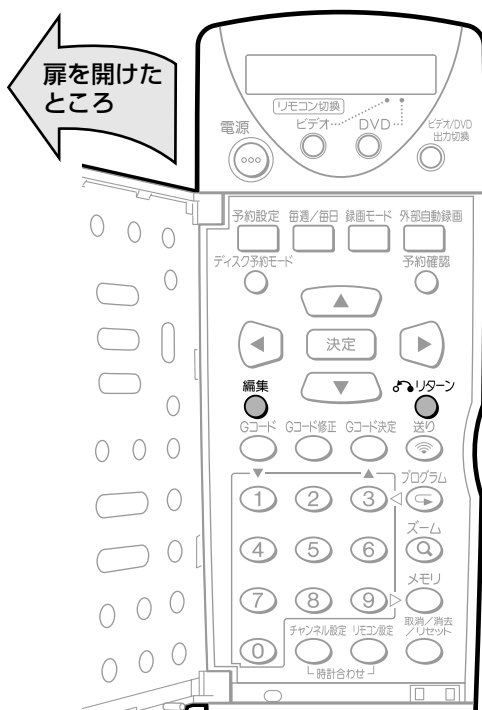
- DVD-RW(ビデオモード)／DVD-Rのディスクでは、オリジナルでのみ編集を行うことができます。
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトルが本機で表示できない文字(漢字など)の場合は、「＊＊＊＊・・・・」(最大24文字分)の表示となります。

オリジナルを編集する（つづき）

選んだ場面を消去する（シーン消去）

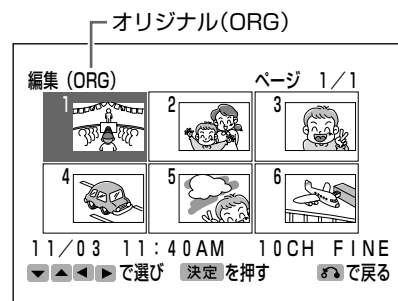
DVD-RW VRモード

■オリジナルのタイトルから、選んだ場面（シーン）を消去することができます。消去したシーンは完全に消え、もとに戻すことはできません。
シーンを消去したところには、チャプターが自動的に区切られます。

■オリジナルからシーンを消去すると、プレイリストからも同じシーンが消去されますので、ご注意ください。

1

① 停止中に（編集）を押し、編集画面を表示する

- プレイリスト（PL）の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② （オリジナル/プレイリスト）を押し、オリジナル（ORG）の編集画面に切り換える

2

「プレイリストを編集する」の「選んだ場面を消去する（シーン消去）」（84～85ページ）の手順2～7と同じ操作を行い、シーンを消去する

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ヒント

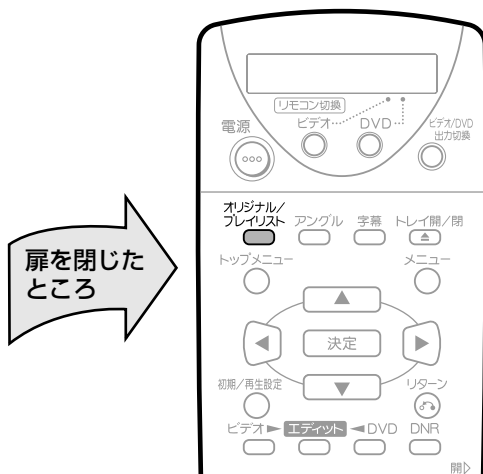
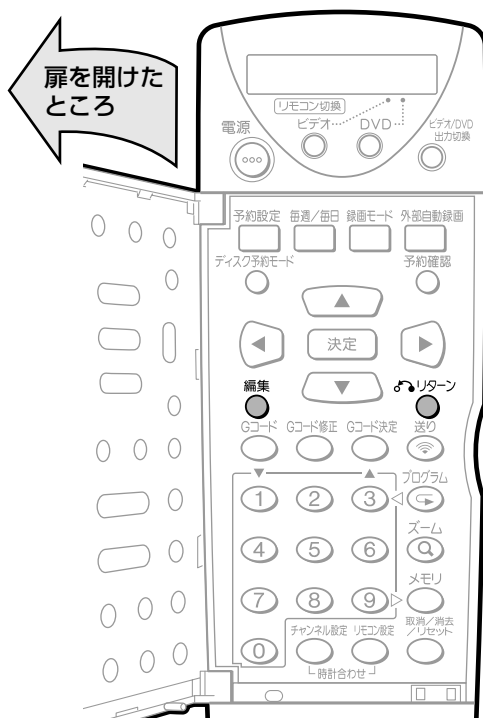
- 1タイトルにつき50回まで、シーンの追加やシーンの消去を行うことができます。
  他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、再生および初期化以外の操作が行えません。

ご注意

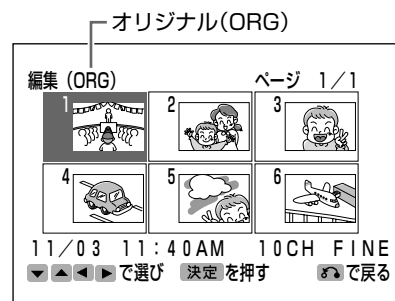
- 5秒未満のシーン消去はできません。
- 消去開始地点と終了地点としてタイトルの始まりと終わりの5秒間の場面は選べません。
  タイトルの始まりから5秒後までの場面を開始地点として選ぶと、タイトルの始まりが開始地点になります。
  タイトルの終わりから5秒前までの場面を開始地点や終了地点として選ぶと、タイトルの最後から5秒前が開始地点や終了地点になります。
  タイトルの最後を選んだときは、最後の地点が終了地点として選ばれます。
  また、シーンの追加やシーンの消去などをして自動的に追加されたチャプターマークの前後5秒間も、消去開始地点と終了地点として選べません。

チャプターを区切る(チャプターマーク追加)

DVD-RW VRモード

オリジナルのタイトルにチャプターマークを追加して、チャプターで区切ることができます。

1 ① **停止中に編集を押し、編集画面を表示する**

- プレイリスト(PL)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② **オリジナル/プレイリストを押し、オリジナル(ORG)の編集画面に切り換える**

2 **「プレイリストを編集する」の「チャプターを区切る(チャプターマーク追加)」(86〜87ページ)の手順2〜5と同じ操作を行い、チャプターマークを追加する**

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

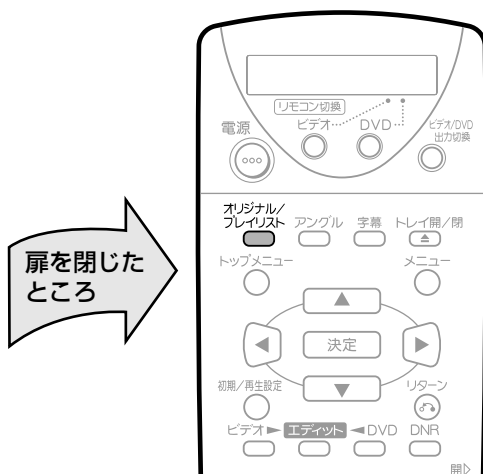
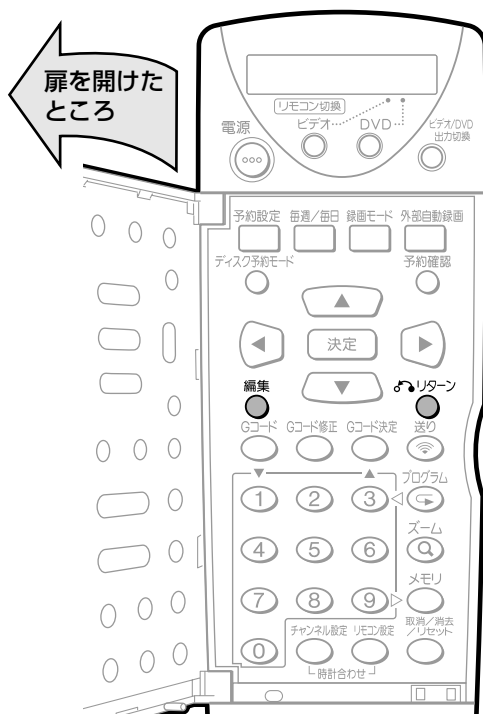
ご注意

- チャプターマークと追加したいチャプターマークとの間は5秒以上あけてください。チャプターマークの間隔が短いと、チャプターマークを追加できません。

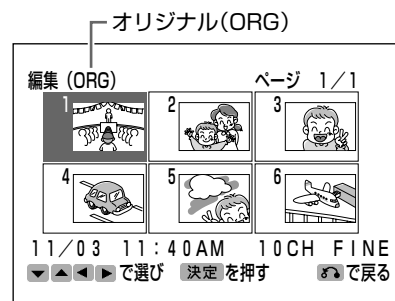
オリジナルを編集する（つづき）

2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプターマーク消去）

DVD-RW VRモード

オリジナルの編集操作で追加したチャプターマークを消去して、2つのチャプターを1つのチャプターにすることができます。
オリジナルのチャプターを結合しても、プレイリストのチャプターには影響ありません。

1 **① 停止中に編集を押し、編集画面を表示する**

- プレイリスト(PL)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリストを押し、オリジナル(ORG)の編集画面に切り換える

2 **「プレイリストを編集する」の「2つのチャプターを1つのチャプターにする（チャプターマーク消去）」（87〜88ページ）の手順2〜5と同じ操作を行い、チャプターを消去する**

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

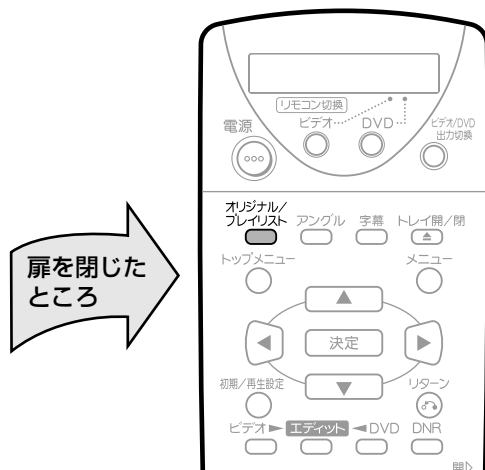
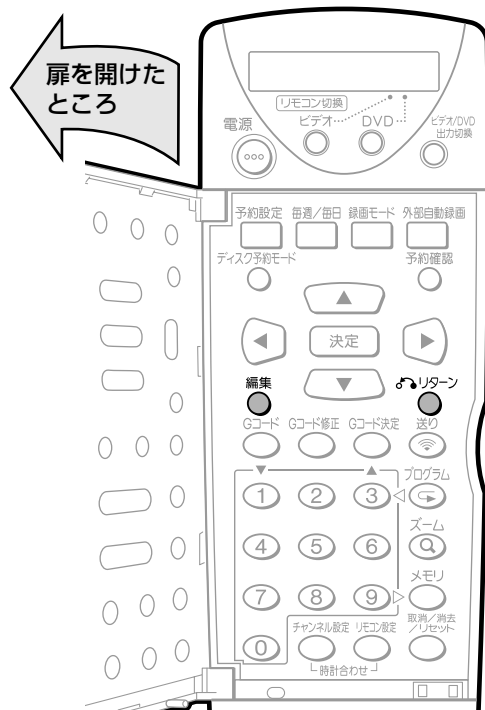
ご注意

次のチャプターマークは赤色で表示され、消去できません。

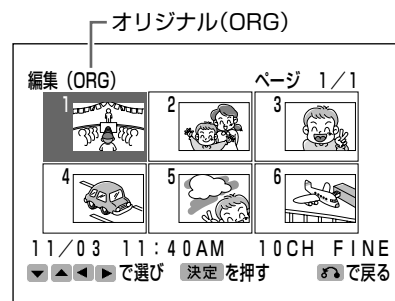
- 録画のとき、自動的に設定されたタイトルの先頭にあるチャプターマーク。
- 「シーン消去」（**96**ページ）で自動的に設定されたチャプターマーク。

ディスクナビ画面を変更する

DVD-RW VRモード

オリジナルのディスクナビ画面で、一覧表示される各タイトルの画面をお好みのシーンに変更することができます。

1 **① 停止中に編集を押し、編集画面を表示する**

- プレイリスト(PL)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル/プレイリストを押し、オリジナル(ORG)の編集画面に切り換える

2 **「プレイリストを編集する」の「ディスクナビ画面を変更する」(92ページ)の手順2～5と同じ操作を行い、画面を変更する**

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

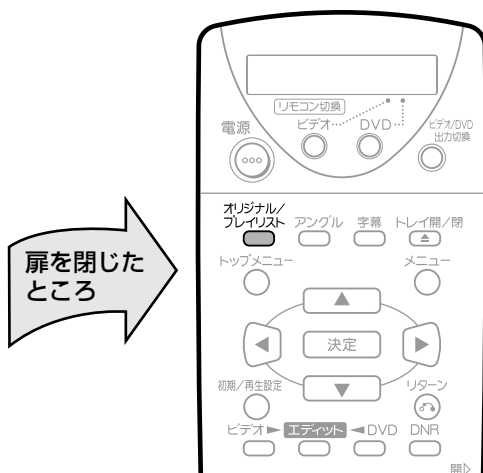
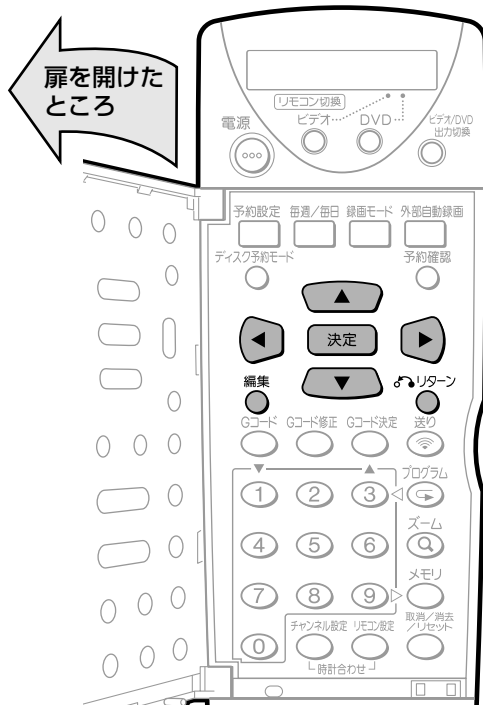
編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

オリジナルを編集する（つづき）

タイトルの編集・消去を不可にする（タイトル保護）

DVD-RW VRモード

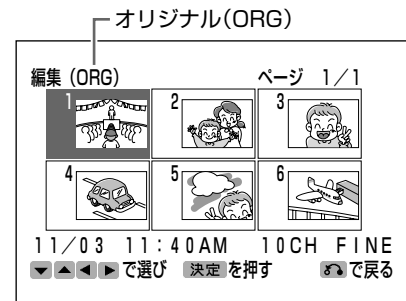
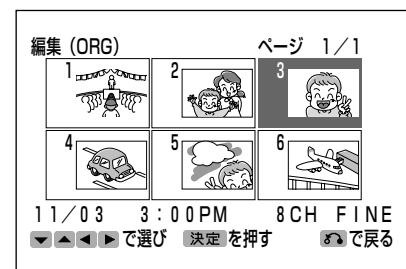
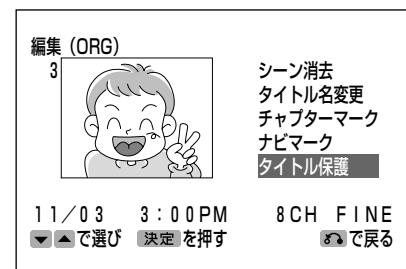
オリジナルのタイトルを誤って消去したり、編集したりしないように、タイトルを保護することができます。

1 ① **停止中に 編集 を押し、編集画面を表示する**

- プレイリスト(PL)の編集画面が表示されたときは、次の操作をします。

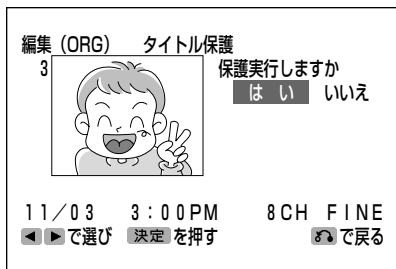
② **オリジナル／プレイリスト を押し、オリジナル(ORG)の編集画面に切り換える**

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で保護するタイトルを選び、決定 を押す**

3 **▲ または ▼ で「タイトル保護」を選び、決定 を押す**

次ページの手順へつづく

4 **◀で「はい」を選び、決定を押す**

- 「いいえ」を選ぶときは▶を押します。

- 保護をしたタイトルに保護マーク「🔒」が表示されます。
- リターンボタンを押すと、編集画面に戻ります。
- ディスクナビ画面と編集画面のどちらでも、保護マークが確認できます。

保護マーク

編集画面を消すときは

編集ボタンを押します。

保護を解除するとき

① **停止中に編集ボタンを押し、編集画面を表示する**

- プレイリスト(PL)の編集画面が表示されたときは、オリジナル／プレイリストボタンを押して、オリジナル(OGL)の編集画面に切り換えます。

② **▲▼◀▶で保護をしたタイトルを選び、決定を押す**

③ **「タイトル保護」で決定を押す**

- 次の画面が表示されます。

④ **◀で「はい」を選び、決定を押す**

- タイトルの保護が解除され、保護マーク🔒が消えます。

ディスクごと保護するときは

初期設定内「ディスク設定」の「ディスク保護」を「入」に設定します(**119**ページ)。すべてのタイトルに保護マークが表示されます。

ご注意

- プレイリストおよびビデオモードのディスクで録画したタイトルを保護することはできません。

「ディスク設定」の「ディスク保護」を「入」に設定しているとき

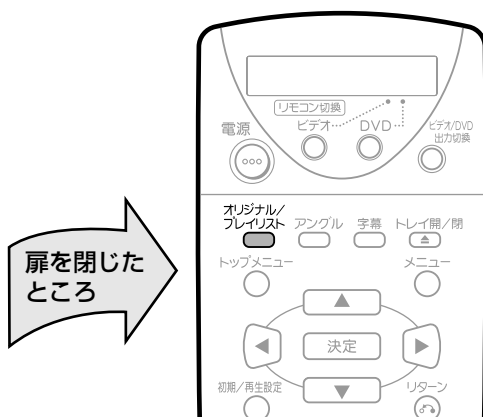
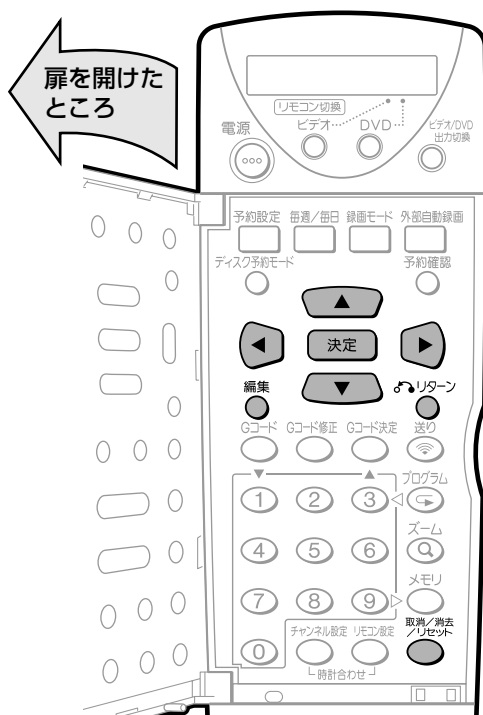
- ディスクごと保護していて、すべてのタイトルに保護マークが表示されているときは、タイトルごとの保護解除はできません。保護を解除するには、「ディスク保護」の設定を「切」にしてください。

オリジナルを編集する（つづき）

1つのタイトルを消去する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■オリジナルのタイトルをタイトル単位で消去します。DVD-RWのディスクでは、不要なタイトルを消去してディスクの空き時間を増やすことができます。

■オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストからも同じタイトルが消去されますので、ご注意ください。

1 **① 停止中に［取消／消去／リセット］を押し、タイトル消去画面を表示する**

- プレイリスト(PL)のタイトル消去画面が表示されたときは、次の操作をします。

② ［オリジナル／プレイリスト］を押し、オリジナル（ORG）のタイトル消去画面に切り換える

タイトル消去（ORG）
1タイトル消去
全タイトル消去

2 **［▲］または［▼］で「1タイトル消去」を選び、［決定］を押す**

3 **［▲］［▼］［◀］［▶］で消去するタイトルを選び、［決定］を押す**

4 **［◀］で「はい」を選び、［決定］を押す**

- 選んだタイトルが消去されます。
- 「いいえ」を選ぶときは［▶］を押します。

消去するタイトルの録画時間

前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

消去画面を消すときは

編集ボタンを押します。

再生中のタイトルを消去するときは

再生中に取消／消去／リセットボタンを押すと、手順**4**の画面表示になります。手順**4**の操作で再生中のタイトルを消去できます。

ご注意

- 保護されているタイトルは、消去できません。
- DVD-Rでは、タイトルを消去しても空き容量は増えません。
- ビデオモード記録のディスクをファイナライズすると、タイトル消去ができなくなります。
- DVD-RW(ビデオモード)では、最後に記録したタイトルを消去したときのみ空き容量が増えます。

すべてのタイトルを消去する

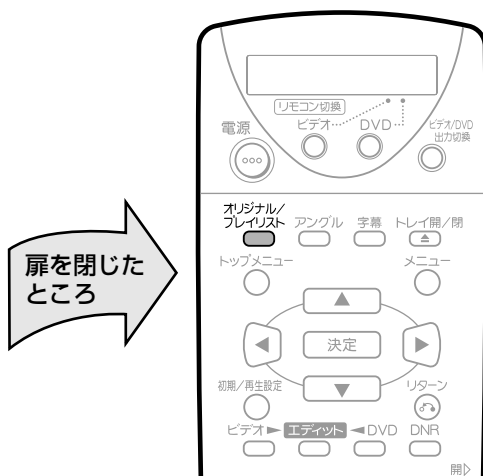
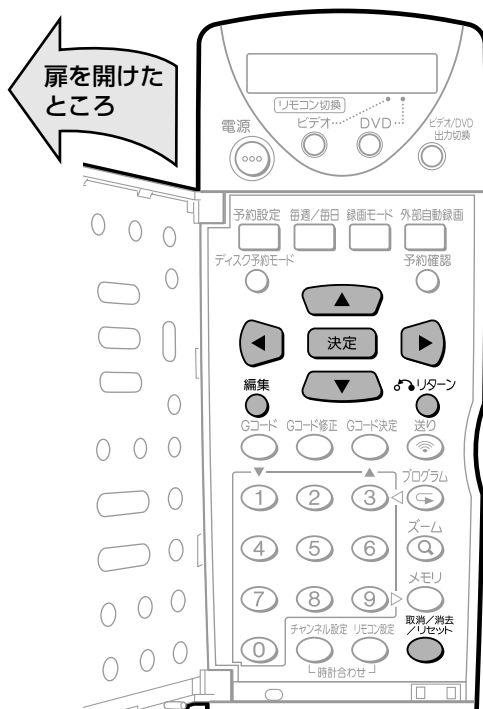
DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■ディスク内のすべてのオリジナルタイトルを消去します。

■オリジナルを消去すると、プレイリストのタイトルもすべて消去されますので、ご注意ください。

■次のタイトルや情報は消去されません。

- タイトル保護されているタイトル
- ディスク予約の内容

ディスク内のすべての内容を消去したいときは、ディスクの初期化を行ってください（**119**ページ）。

1

① 停止中に 取消／消去／リセット を押し、タイトル消去画面を表示する

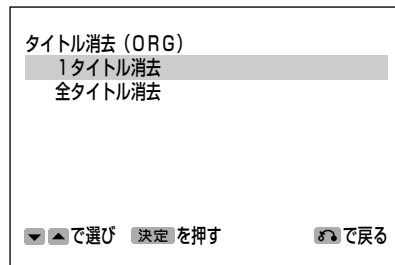
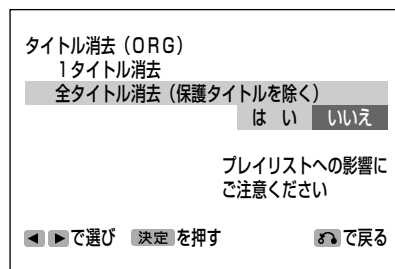
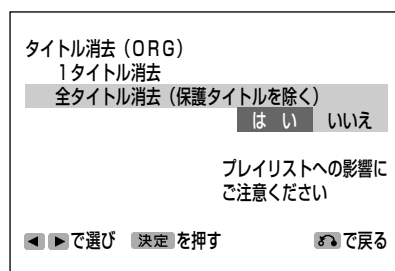
- プレイリスト(PL)のタイトル消去画面が表示されたときは、次の操作をします。

② オリジナル／プレイリスト を押し、オリジナル(ORG)のタイトル消去画面に切り換える

2

▲ または ▼ で「全タイトル消去」を選び、決定 を押す

3

◀ で「はい」を選び、決定 を押す

- プレイリストのすべてのタイトルが消去されます。
- 「いいえ」を選ぶときは ▶ を押します。

消去画面を消すときは

編集ボタンを押します。

ご注意

- 保護されているタイトルは、消去できません。
- タイトル数が多い場合などディスクの記録状態によっては、処理に2分程時間がかかる場合があります。
- ビデオモード記録のディスクをファイナライズすると、タイトル消去ができなくなります。

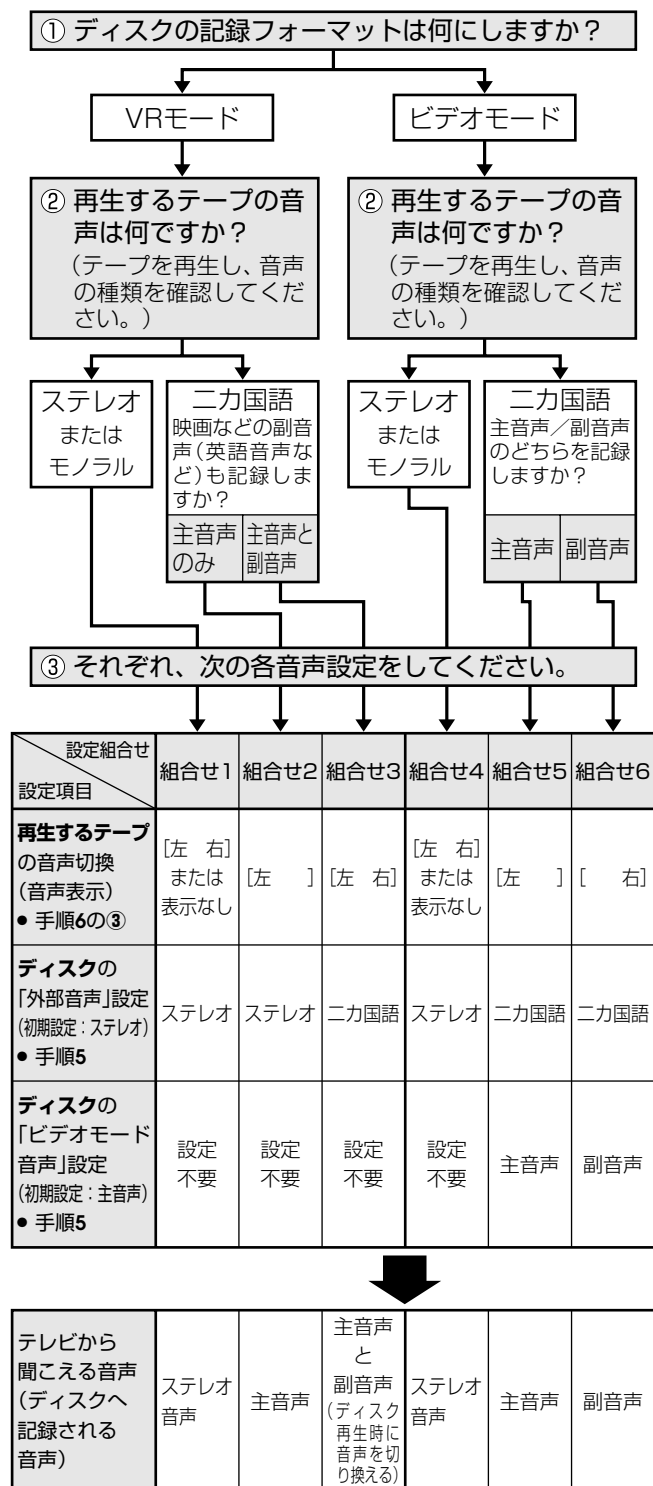
ビデオテープをディスクに編集(ダビング)する

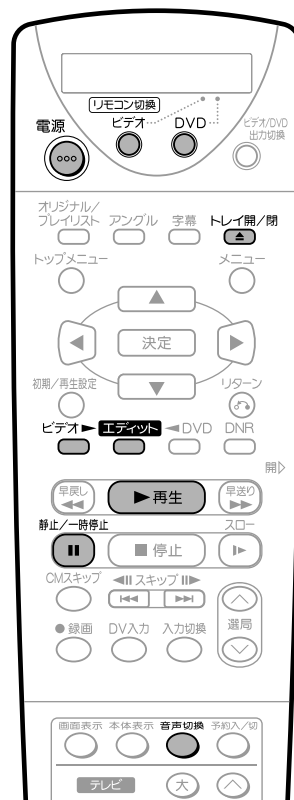
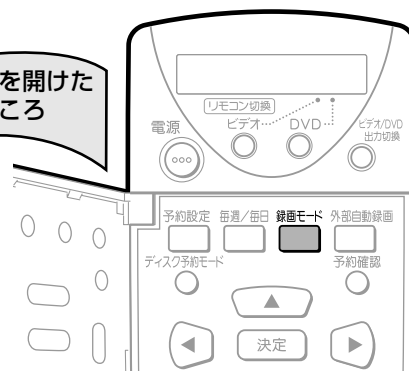
DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　ビデオテープ

ビデオテープの映像、音声をディスクに編集記録することができます(エディット録画)。音声については、ビデオテープとディスクにて音声切換え、音声設定が必要です。

編集記録する前に下記の確認、音声切換と設定をしてください。

設定組合せ / 設定項目	組合せ1	組合せ2	組合せ3	組合せ4	組合せ5	組合せ6
再生するテープの音声切換(音声表示) ● 手順6の③	[左　右] または 表示なし	[左　]	[左　右]	[左　右] または 表示なし	[左　]	[　右]
ディスクの「外部音声」設定 (初期設定：ステレオ) ● 手順5	ステレオ	ステレオ	二カ国語	ステレオ	二カ国語	二カ国語
ディスクの「ビデオモード音声」設定 (初期設定：主音声) ● 手順5	設定不要	設定不要	設定不要	設定不要	主音声	副音声

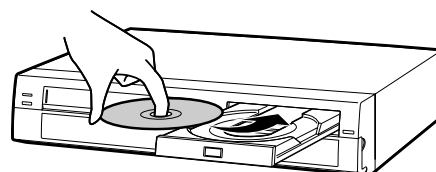
テレビから聞こえる音声(ディスクへ記録される音声)	ステレオ音声	主音声	主音声と副音声(ディスク再生時に音声を切り換える)	ステレオ音声	主音声	副音声

※編集(ダビング)後は、ビデオ側の音声切換を「左　右」に戻すことをおすすめします。

※ディスクの記録フォーマットについて詳しくは、**10**ページをご覧ください。

[例] DVD-RW(VRモード)のディスクにダビングする

1
① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2
電源 **を押し、本機の電源を入れる**

3
トレイ開/閉 **を押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置く**

- ラベル印刷面を上にして置きます。

次ページの手順へつづく

4 トレイ開/閉を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます(**118**ページ)。

5 ディスクの音声設定をする

- 「録画初期設定」の「外部音声」(**118**ページ)、「ビデオモード音声(ビデオモードのみ)」(**118**ページ)を設定します。左記の表を参考に設定してください。

6

① 再生するビデオテープを入れる

② リモコン切換 ビデオ を押す

- リモコンの操作モードを「ビデオ」にします。

③ ►再生 を押して再生し、ビデオテープの音声を切り換える

- 音声切換ボタンを押して、再生する音声を選びます(**51**ページ)。左記の表を参考に設定してください。

④ 再度ダビング開始位置の前から再生し、ダビング開始位置で 静止/一時停止 を押す

- 記録時に数秒の時間差が生じますので、ダビングを開始したい位置の数秒(約5〜6秒)前で静止画にすることをおすすめします。

7

① リモコン切換 DVD を押す

- リモコンの操作モードを「DVD」にします。

② 録画モード で録画モードを選ぶ

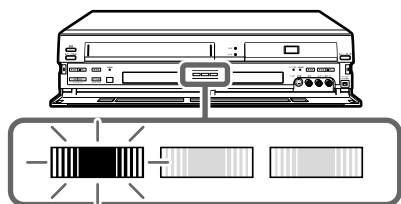
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

「FINE」→「SP」→「LP」→「EP(VRモードのみ)」→「FINE」

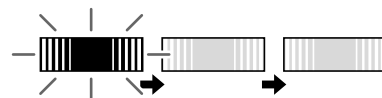
本体DVD表示部

FINE
DVD-RW

8 ビデオ► を押す

- ダビング待機状態になり、本体のエディットランプ(青色)が点滅します。

- ダビング待機状態を解除するときは、もう一度ビデオ►ボタンを押します。

9 エディット を押す

- ダビングが始まります。
- エディットランプ(青色)がくり返し、順に点滅します。

- ダビング中にテープを特殊再生(静止画、スロー再生、ビデオサーチ順/逆など)させると、ディスクがダビング待機状態になります。静止、再生または停止にして、もう一度エディットボタンを押すとダビングを始めます。

10 ダビングを止めるには、もう一度 エディット を押す

ヒント

- DVD-Rのディスクにダビングする場合も操作手順は同じです。ただし、手順**9**でエディットボタンを押したとき、録画が開始されるまで約10秒かかります。
- ダビングしたディスクの最後に黒い画面が記録されますが故障ではありません。停止する際、テープとディスクに時間差が生じることがあります。その場合、黒い(信号のない)画面を記録するようになっています。
- ダビング中に再生しているテープの音声切換はできません。ダビングを始める前に設定してください。
- ビデオテープをディスクにダビングしているとき、ビデオテープのカウンター値とディスクの録画時間が多少ずれることがあります。
- 音声出力は、ビデオの再生音声が出力されます。
- 初期設定画面のオプション内、「DVD/ビデオオプション」の「ブルーバック」を「切」に設定している場合は、ダビングの終了箇所で映像が乱れる場合があります。録画に影響はありません。

ご注意

次のような場合は、ダビングできません。
- 録画できないディスクがセットされているとき。
- コピーガード対応のビデオソフトのとき。
- DV入力になっているとき。

次のような場合、ダビング待機状態が解除されます。
- ビデオを録画にしたり、DVDを再生したときなど。
- 電源を「入/切」したとき。

次のような場合、ダビングを停止します。
- ビデオテープが最後まで再生され、停止したとき。
- ビデオまたはDVDを停止したとき。
- ディスクの残量がなくなったとき。

著作権について
- ビデオテープ等の著作物から録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作物を編集することは著作権法上、権利者に無断で行うことはできません。

ディスクをビデオテープに編集(ダビング)する

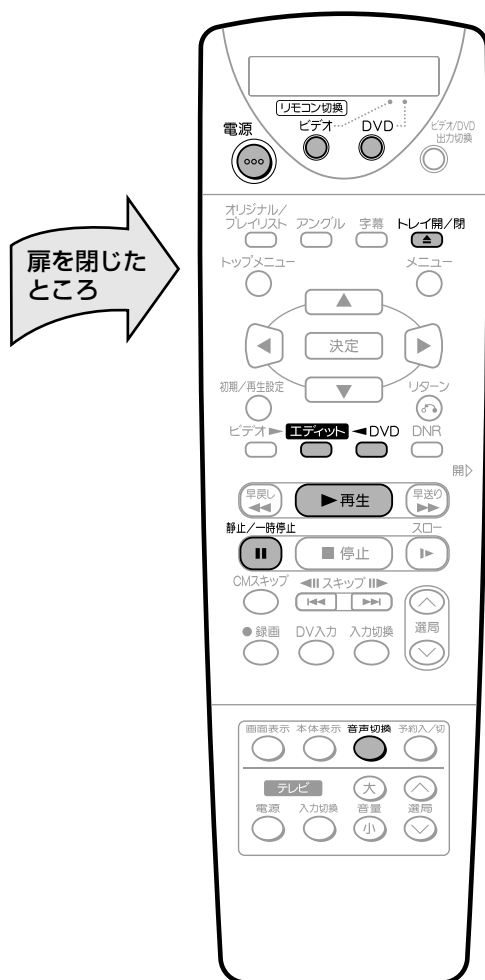
DVD-VIDEO　DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　VIDEO CD　CD　ビデオテープ

ディスクの映像、音声をビデオテープに編集記録することができます(エディット録画)。ただし、コピー防止機能のついたディスクなどをテープに記録すると、テープを再生したときに映像が乱れます。

1

① テレビの電源を入れる

② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2

電源(ボタン)を押し、本機の電源を入れる

3

録画用のビデオテープを入れる

- ツメの折れたビデオテープには録画できません。

4

トレイ開/閉(ボタン)を押してディスクトレイを開け、再生用のディスクを置く

- ラベル印刷面を上にして置きます。

5

トレイ開/閉(ボタン)を押し、ディスクトレイを閉める

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。

6

① リモコン切換 DVD(ボタン)を押す

- リモコンの操作モードを「DVD」にします。

② ►再生(ボタン)を押して再生し、録音したい音声を選ぶ

- 音声切換ボタン(**37**ページ)で、録音したい音声を選んでください。

③ 再度ダビング開始位置の前から再生し、ダビング開始位置で 静止/一時停止(ボタン)を押す

7

① リモコン切換 ビデオ(ボタン)を押す

- リモコンの操作モードを「ビデオ」にします。

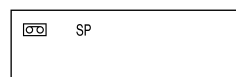
② 録画モード(ボタン)で録画モードを選ぶ

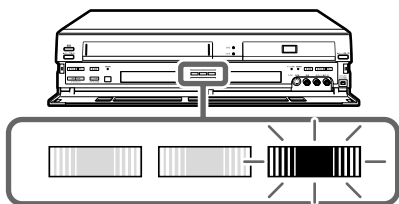
- ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

「SP(標準)」⟷「EP(3倍)」

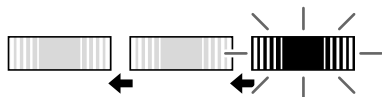
本体ビデオ表示部

SP

次ページの手順へつづく

8 ◄DVDを押す

● ダビング待機状態になり、本体のエディットランプ(青色)が点滅します。

● ダビング待機状態を解除するときは、もう一度◄DVDボタンを押します。

9 エディットを押す

● ダビングが始まります。
● エディットランプ(青色)がくり返し、順に点滅します。

10 ダビングを止めるには、もう一度エディットを押す

ヒント

● ダビング中に再生しているディスクの音声切換はできません。ダビングを始める前に設定してください。
● ディスクの再生映像の明るさが通常のディスクの再生時と異なる場合もあります。
● ディスクをビデオテープにダビングしているとき、ディスクの再生時間とビデオテープのカウンター値が多少ずれることがあります。
● 音声出力は、DVDの再生音声が出力されます。
● 初期設定画面のオプション内、「DVD／ビデオオプション」の「ブルーバック」を「切」に設定している場合は、ダビングの終了箇所で映像が乱れる場合があります。録画に影響はありません。

ご注意

次のような場合は、ダビングできません。
• 「再生初期設定」の「プログレッシブ再生」が「入」に設定されているとき。
• DV入力になっているとき。

次のような場合、ダビング待機状態が解除されます。
• DVDを録画にしたり、ビデオを再生したときなど。
• 電源を「入／切」したとき。

次のような場合、ダビングを停止します。
• ディスクが最後まで再生され、停止したとき。
• ビデオまたはディスクを停止したとき。
• テープの残量がなくなったとき。

著作権について
• ディスク等の著作物から録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
• 著作物を編集することは著作権法上、権利者に無断で行うことはできません。

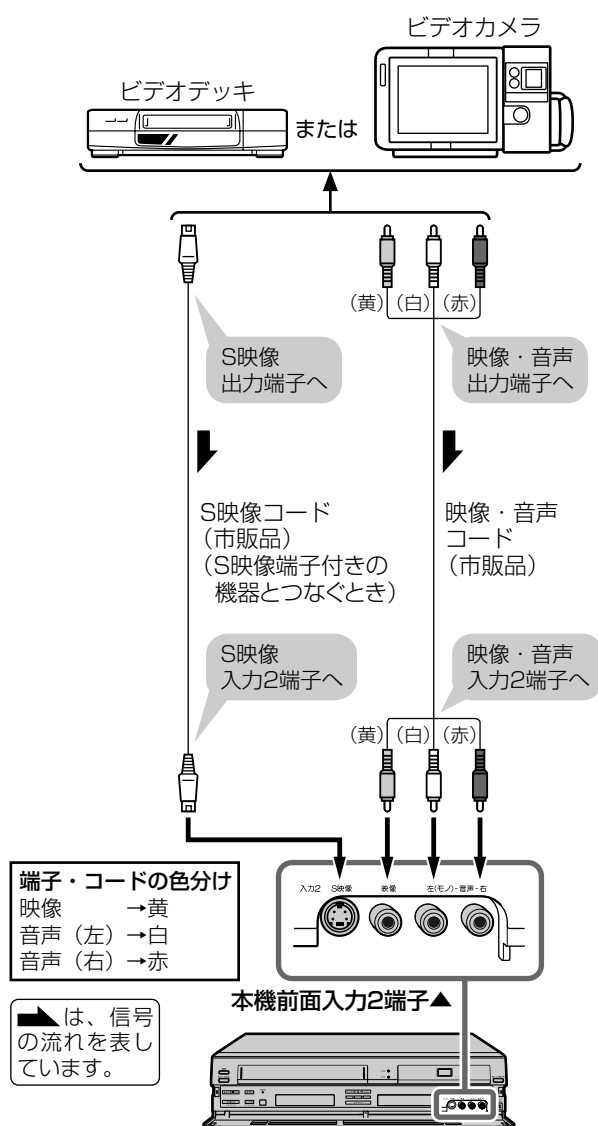
他機をつないで行う操作

■ここでは、本機と外部機器をつないでできる操作について説明をしています。
デジタルビデオカメラで録画した画像を見るときには、本機の前面入力端子を使うと便利です。また、本機に他のビデオ機器をつないで、テープの内容などをディスクやテープに編集録画することができます。

ビデオ機器をつないで見る・ダビングする

■本機の外部入力端子(L1、L2)に接続した機器の映像を本機を経由して見たり、本機で録画したりするときは、次のように接続します。
■本機は電源が「入」のとき、前面入力端子にビデオ機器をつなぐと、自動的に外部入力の映像に切り換わる「前面入力自動切換」機能を備えています。

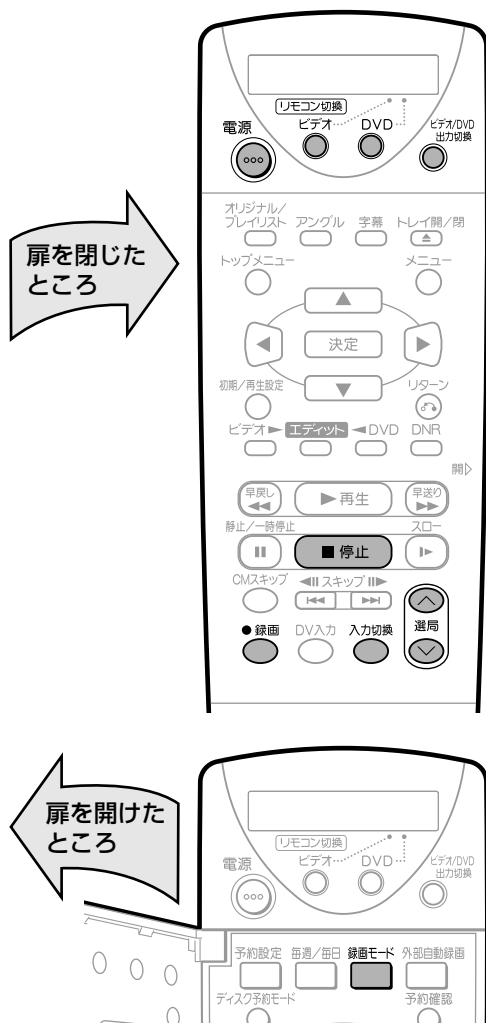
接続のしかた

※ビデオ機器側の接続のしかたについては、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ヒント

● 本機で録画するときは、本機後面の入力1端子を使うこともできます。

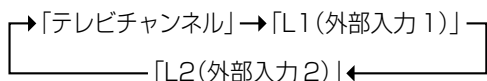
ご注意

● 本機に内蔵しているビデオは、S-VHSタイプではありません。ビデオ使用時、S映像入力端子に入力された外部機器のS映像信号は、S-VHSの解像度で録画できません。
● 本機の入力端子につないだ機器がモノラルの場合は、「左(モノ)」端子に接続します。
● 映像コードとS映像コードの両方を接続した場合は、S映像コードの信号を優先します。

つないだ機器の映像を見る

1 ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2 電源 を押し、本機の電源を入れる

3 入力切換 をくり返し押し、「L2」を選ぶ
- 押すたびに次のように切り換わります。

→「テレビチャンネル」→「L1(外部入力1)」→「L2(外部入力2)」→（「テレビチャンネル」に戻る）

4 本機の入力端子につないだ機器の電源を入れて、機器の再生をする

ヒント
- 手順3で選局(∧／∨)ボタンを押しても、「L2」を選ぶことができます。

ご注意
- コピーガードが入っている映像は、正常な映像が得られない場合があります。

つないだ機器の映像を録画する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R　ビデオテープ

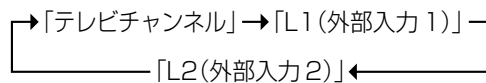
1 ① テレビの電源を入れる
② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2 電源 を押し、本機の電源を入れ、録画用のビデオテープまたはディスクをセットする
- リモコンの操作モード、出力切換を録画したい側のモードに切り換えてください。

3 つないだ再生機器の準備をする
- 電源を入れます。
- 再生するビデオテープを入れます。
- 画面表示機能があるときは、画面表示を消してください。
- 音声切換機能があるときは、録音したい音声を選んでください。

4 外部入力の音声を選ぶ
- DVDに録画する場合は、録音する音声に合わせて「録画初期設定」の「外部音声」(**118**ページ)、または「ビデオモード音声(ビデオモードのみ)」(**118**ページ)を設定します。
- ビデオテープに録画する場合は、この手順はとばします。

5 入力切換 をくり返し押し、「L2」を選ぶ
- 押すたびに次のように切り換わります。

→「テレビチャンネル」→「L1(外部入力1)」→「L2(外部入力2)」→（「テレビチャンネル」に戻る）

- 後面入力1端子に機器を接続しているときは、「L1」にします。
- 選局(∧／∨)ボタンを押しても、選ぶことができます。

6 録画モード をくり返し押し、録画モードを選ぶ

DVDのとき

「FINE/SP/LP/EP」から選択します。
- 「EP」はVRモードのみ選べます。

ビデオテープのとき

「SP(標準)/EP(3倍)」から選択します。

次ページの手順へつづく

ビデオ機器をつないで見る・ダビングする(つづき)

7
■ 再生機器
再生開始位置で、一時停止にする

8
■ 本機
●録画 を押す
● 録画が始まります。
■ 再生機器
再生一時停止を解除する

9
● 録画編集を終了するときは
■ 本機
■停止 を押す
■ 再生機器
再生を止める

ヒント

- DVD-Rディスクに録画するときは、手順8の操作で●録画ボタンを押す回数を、「録画初期設定」の「DVD-R録画開始」(**118**ページ)で設定した回数に合わせて押してください。
- 当社製のビデオ機器と接続して使うときは、本機のリモコンコードを「RC2」に切り換えてご使用になることをおすすめします。(1.接続・準備編**33**ページ)。

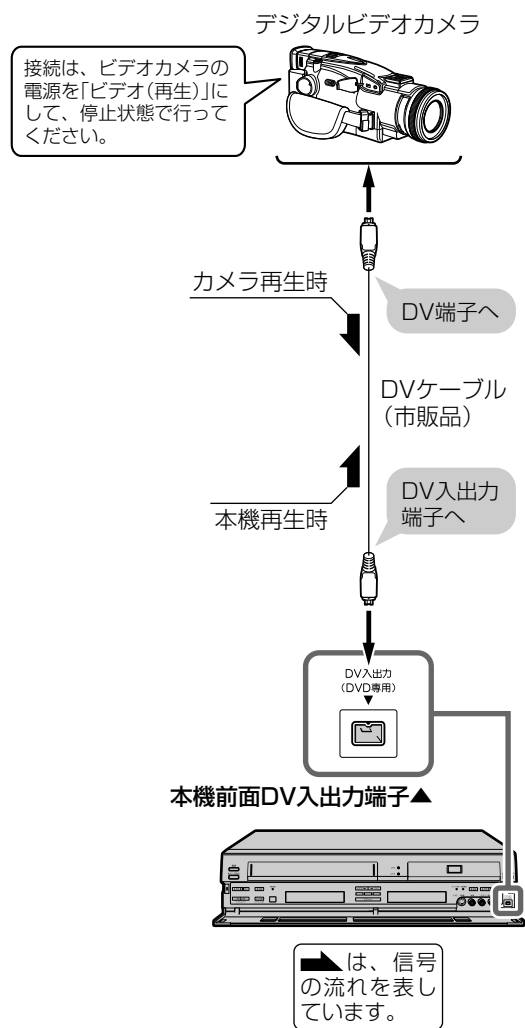
ご注意

- コピーガードが入っている映像は、録画防止機能の働きにより正常な録画ができません。(または録画できません。)

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する

本機前面のDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラから映像を録画したり、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画したりすることができます。ビデオカメラの制御も本機のリモコンで操作できますので、簡単に録画することができます。

デジタルビデオカメラを接続する

※接続するデジタルビデオカメラの取扱説明書もご覧ください。

ご注意

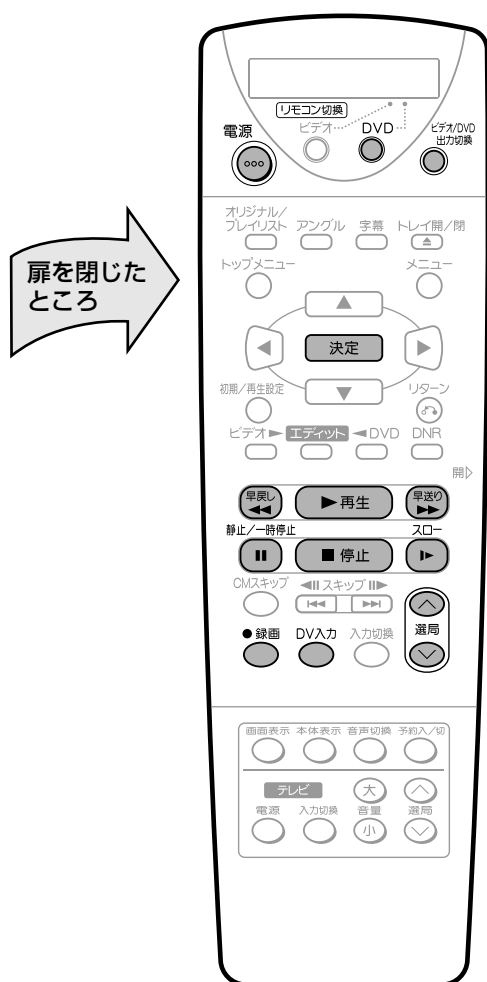
- 本機のDV端子は、デジタルビデオカメラ接続端子です。他の機器(パソコンなど)と接続した場合には、正しく映像の取り込みや出力ができない場合があります。
- 本機とデジタルビデオカメラは直接接続してください。DV入出力端子付き機器を経由して本機にデジタルビデオカメラを接続した場合は、DV信号が入力されません。また、DVリンクも働きません。
- 本機とデジタルビデオカメラを接続するときは、デジタルビデオカメラをビデオ再生モードにして、停止状態で接続してください。カメラ撮影モードや再生状態のときに接続すると、DVリンクが正しく働きません。
- 本機と接続できるデジタルビデオカメラは1台のみです。

デジタルビデオカメラからダビング・編集する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

■接続したデジタルビデオカメラの映像内容をそのままダビングしたり、お好みの場面だけを編集することができます。本機のDV入出力端子からは、DVC-SD方式の信号のみ入力することができます。

■DV入力の映像は、ビデオテープに録画することはできません。

1

① テレビの電源を入れる

② テレビの入力切換を本機とつないだ外部入力(「ビデオ」など)にする

2

① 電源 を押し、本機の電源を入れる

② ビデオ/DVD出力切換 を押し、「DVD出力」にする

③ DVD を押してリモコンの操作モードを「DVD」に切り換え、録画用のディスクをセットする

- 本体DVD表示部の「LOAD」が消えるまで待ってください。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットした場合は、自動的に初期化が行われます(**118**ページ)。

3

デジタルビデオカメラの準備をする

- 再生するDVテープを入れ、再生のできる状態にします。

4

外部入力の音声を選ぶ

- 初期設定画面のオプション内、「DVDオプション」の「DV入力音声」を「ステレオ1」または「ステレオ2」に設定します(**122**ページ)。

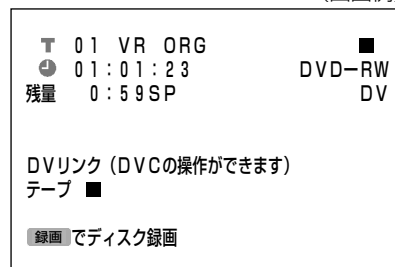
5

DV入力 を押し、DV入力に切り換える

- 押すたびに次のように切り換わります。

「DV(DV入力)」⟷「テレビチャンネル」

- 選局(∧/∨)ボタンを押しても、DV入力に切り換えることができます。

(画面例)

```
T  01  VR  ORG                 ■
◷  01:01:23               DVD−RW
残量  0:59SP                   DV

DVリンク (DVCの操作ができます)
テープ  ■

録画 でディスク録画
```


次ページの手順へつづく

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する(つづき)

6 本機のリモコンでデジタルビデオカメラの操作をし、再生する

- 初期設定画面のオプション内、「DVDオプション」の「DVリンク」(**122**ページ)が「入」のときは、次のボタンが使用できます。

  再生をする……………………………… ▶再生
  再生などを停止する ……………………… ■停止
  早送り再生をする ………………………… 早送り ▶▶
  巻戻し再生をする ………………………… 早戻し ◀◀
  再生を一時停止する ……………………… 静止／一時停止 ❚❚
  再生速度を変更する ……………………… スロー ❙▶

- 停止中に早送り▶▶ボタンまたは早戻し◀◀ボタンを押すと、早送り／巻戻しをします。

7 録画を開始したい場面で●録画を押す

- 本機で録画が開始されます。
- 本機で録画中、デジタルビデオカメラの再生に録画のない部分があったり、再生を停止したりすると録画は一時停止になります。録画のある部分が再生されると一時停止は解除されます。

8 録画を停止(終了)する

- 「DVリンク」が「入」のとき
  決定を押す
- 「DVリンク」が「切」のとき
  ■停止を押す

録画を一時停止するときは

「DVリンク」が「入」のときは、●録画ボタンを押します。
「切」のときは静止／一時停止❚❚ボタンを押します。
もう一度押すと一時停止が解除になります。

DV入力画面を終了するときは

DV入力ボタンを押します。

ヒント

- ビデオモードで録画している場合、30秒(LPモード時は1分)単位で録画を行うため、手順**8**で停止させたとき、しばらく録画が続くことがあります。。
- DV入力で「DVリンク」を「入」に設定しているときは、ディスクの再生操作ができません。録画が終了した後は、「DVリンク」を「切」にしてご使用ください。

ご注意

- 「録画禁止」または「1回録画可」の映像・音声は本機で録画できません。

ご注意

接続について

- 本機のDV入出力端子はDV方式ビデオカメラ(DVC-SD方式)の信号のみを入出力できます。デジタルCSチューナー、BSデジタルチューナー、D-VHS方式ビデオカセットレコーダーなどは方式が違うため入出力はできません。
- DV端子付ビデオカメラと本機を接続したとき、ビデオカメラによっては、本機に信号が入力されない場合があります。そのようなときは、前面入力2端子を使用してアナログ接続を行ってください。(シャープ製ビデオカメラVL-DC3をご使用の場合は、前面入力2端子を使用してアナログ接続してください。)
- 本機とパソコンを接続して編集することはできません。

操作について

- デジタルビデオカメラがビデオ再生モードになっていないとDV入力はできません。
- 映像を録画中にデジタルビデオカメラで無記録部分や録画禁止部分を再生すると、本機の録画は一時停止します。その部分を過ぎると録画を再開します。
- DV入力時にデジタルビデオカメラがカメラ撮影モードになっていると、正しく録画されません。

その他

- デジタルビデオカメラによっては、本機で操作できないことがあります。その場合、「DVリンク」を「切」にしてください(**122**ページ)。
- 他の機器から本機を操作することはできません。本機同士を接続してもう一方を操作することもできません。
- 日付け・時刻情報およびカセットメモリーの内容を記録することはできません。
- DVテープの音声モードが12bit(32kHz)の場合は、本機の「DV入力音声」で選んだ「ステレオ1」(録画したときの音声)、「ステレオ2」(アフレコなどのあとから追加した音声)のどちらか一方のみ記録することができます(**122**ページ)。
- モノラル音声はDV入力ができません。
- 16bit(48kHz)音声と12bit(32kHz)音声の両方が記録されているデジタルビデオテープを再生して本機で録画した場合、音声が切り換わる部分を再生すると音が途切れます。
- 44.1kHzの音声はDV入力ができません。
- DV入力した二重音声はステレオとして記録されます。再生時に主・副音声の切り換えはできません。
- DV入力中は、デジタルビデオカメラの操作状態を表示しないことがあります。
- 画面サイズの切り換わりの画像や無記録から記録の切り換わりの画像を録画して再生したとき、一瞬画像が乱れることがあります。

次のような場合、DV入力中の映像が正しく記録されないことがあります。

- デジタルビデオカメラで無録画部分を再生したとき。
- 録画中にDVケーブルを抜いたり、デジタルカメラの電源を切ったとき。
- デジタルビデオカメラの再生を中止したとき。

デジタルビデオカメラに映像を出力する

DVD-RW VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R

DVケーブルで本機とデジタルビデオカメラを接続して、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画することができます。本機のチャンネルを「DV」以外に設定し、本機で再生を始めるとDV入出力端子から再生信号が出力されます。

1 デジタルビデオカメラを本機のDV入出力端子に接続する

2 デジタルビデオカメラで録画したい映像を本機で再生する

3 デジタルビデオカメラで録画の操作をする

ヒント

- デジタルビデオカメラには、一般に2種類の音声モードがあります。
  16bit（48kHz）：高音質ですが1組のステレオ音声のみです。
  12bit（32kHz）：2組のステレオ音声を持っています。ステレオ2にアフレコすることができます。
- ディスク情報を表示していると、デジタルビデオカメラに出力される映像にも情報が表示されます。本機のDV入出力端子から出力される映像をデジタルビデオカメラで録画するときは、ディスク情報の表示を消してください。

ご注意

- 本機のDV入出力端子からは、DVD-RWおよびDVD-Rの再生時のみ、映像と音声を出力します。テレビ放送・外部入力・CDとビデオCDの映像・音声は出力できません。
- 「録画禁止」または「1回録画可」の映像・音声は出力されません。
- 本機から出力される音声モードは16bit（48kHz）のみです。
- プログレッシブ再生中は、DV出力ができません。
- DV入力中は、本機からDV出力されません。
- 本機のビデオテープの再生映像は、DV出力ができません。

i.LINK（アイリンク）について

本機でのi.LINK操作は

本機のDV入出力端子は、DV方式のデジタルビデオカメラと接続してご使用になれます。使用方法および接続の際のご注意については、**112**ページをご覧ください。
接続の際のご注意などについては、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

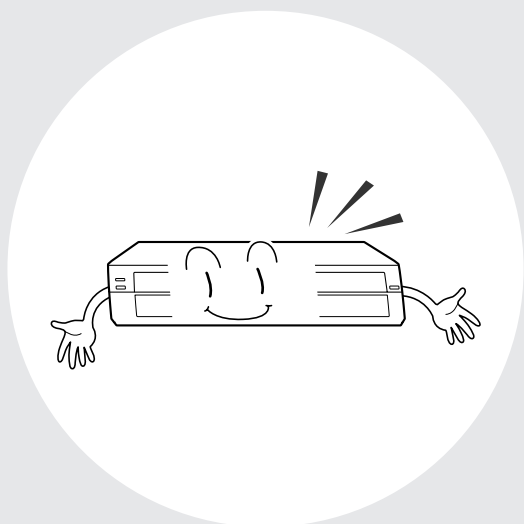
必要なi.LINKケーブル

市販のDVケーブルをお使いください。
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

- i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、映像・音声・データ信号を入出力し、他機のコントロールを行うことができる機能です。
- i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様を示す呼称で、iはi.LINKに準拠した製品に付けられるロゴです。
- i.LINK i は商標です。

ご注意

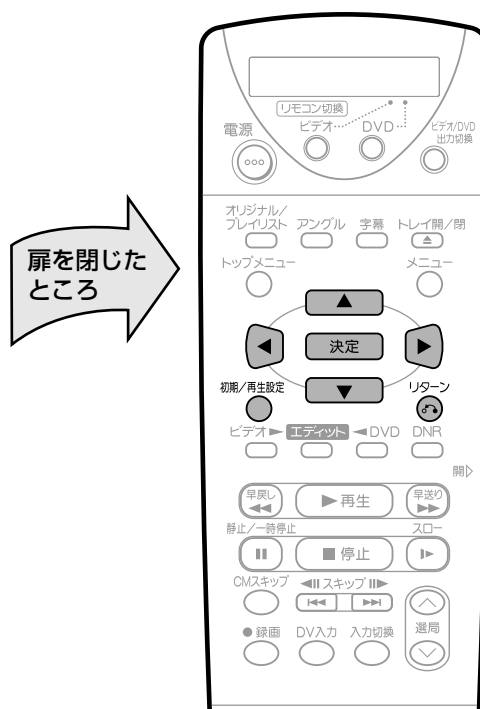
- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、各機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

設定と調整

■ここでは、再生や録画などに必要ないろいろな設定について説明をしています。
接続方法により異なる設定もあります。別冊「1.接続・準備編」でご確認ください。

初期設定画面を使う

■使用状況に合わせて「初期設定画面」を使い、画質や音声などいろいろな設定をすることができます。各項目については、**115**～**123**ページをご覧ください。
■下記の設定方法は基本的な設定方法です。項目によっては、設定方法が異なる場合があります。画面の操作ガイド表示を見て操作してください。

初期設定画面の使いかた

1

① 停止中に 初期/再生設定 を押す

- 初期設定画面が表示されます。

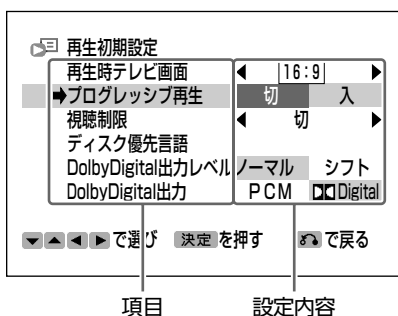
操作ガイド

② ▲ または ▼ で設定したい初期設定項目を選び、決定 を押す

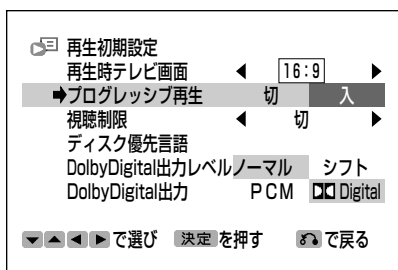
- 「再生初期設定」、「録画初期設定」、「ディスク設定」、「時計確認」、「チャンネル設定」、「オプション」から選びます。
- 選択した設定の項目画面が表示されます。

次ページの手順へつづく

2 ▲または▼で項目を選ぶ

[例] 「再生初期設定」の「プログレッシブ再生」を選んだとき

- 設定内容が表示されていない項目を選択したときは、▶を押すと次階層の項目が表示されます。▲または▼で表示された項目を選択してください。

3 ◀または▶で設定内容を選び、決定を押す

[例] 「プログレッシブ再生」を「入」にしたとき

- 設定が終了します。

1つ前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

設定画面を消すときは

初期／再生設定ボタンを押します。

ご注意

- DVDが再生されているときは、初期設定画面は表示されません。

再生に関する設定（再生初期設定）

■ディスクを再生するときの映像や音声などの設定を、再生条件や接続条件に合わせて設定します。
　□ 表示は、工場出荷時の設定（初期設定）を表します。

■初期設定画面で「再生初期設定」を選びます。基本的な操作方法は、「初期設定画面の使いかた」（**114**ページ）をご覧ください。

■再生時テレビ画面

本機と接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4：3画面のテレビ）に合わせて設定をします。

設定	内容説明
4:3PS （パンスキャン）	4:3画面のテレビと接続するとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。 （4:3画像はそのまま再生されます。）
4:3LB （レターボックス）	4:3画面のテレビと接続するとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。 （4:3画像はそのまま再生されます。）
16:9 （ワイドテレビ）	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビと接続するとき。

ご注意

- DVDビデオによっては、「4：3LB」あるいは「4：3PS」に設定しても、自動的にどちらかで再生されることがあります。

BSデジタル放送などのワイド（16：9）映像を、DVD-RW（VRモード）で録画したとき

- 本機で再生し、4：3画面のテレビでご覧になるときは、「再生時テレビ画面」の設定により再生時の画面サイズを切り換えることができます。
  ただし、録画をしたときのディスクの録画モードが「LP」や「EP」の場合、「再生時テレビ画面」の設定を「4：3 PS」にしても「4：3 LB」の画像で再生されます。

BSデジタル放送などのワイド（16：9）映像をビデオモードで録画したとき

- 4：3画面のテレビで見ると、縦長の映像で再生されます。（再生時テレビ画面設定にかかわらず、16：9の出力になります。）
- DVDビデオが再生可能なパソコンで再生した場合、縦長の映像になります。
- 本機とテレビをD映像端子で接続して再生したとき、テレビが自動でワイド画面に切り換わらないことがあります。このときは、テレビ側で画面サイズを手動で切り換えてお楽しみください。

再生に関する設定（再生初期設定）(つづき)

基本的な操作方法は、「初期設定画面の使いかた」（**114**ページ）をご覧ください。

■プログレッシブ再生

ディスクを再生したときに本機のD1/D2映像出力端子から出力される映像信号の方式を選びます。映像信号の方式については、「用語の解説」（**131**ページ）をご覧ください。

設定	内容説明
切（インターレース）	インターレース方式で映像を出力します。本機を通常のテレビ（インターレース方式）に接続しているときは、この設定を選びます。
入（プログレッシブ）	プログレッシブ（525p）方式で映像を出力します。本機をプログレッシブ（525p）方式に対応したテレビに接続しているときは、この設定を選びます。

ヒント

「プログレッシブ再生」を「入」にすると

- 再生中に本体DVD表示部の「525P」が点灯します。
- 数秒間画面表示が流れて見えたり、ブルーバックが正しく表示されないことがあります。

ご注意

次のような場合は、「プログレッシブ再生」を「切」に設定してください。

- プログレッシブ対応のテレビによっては、プログレッシブ映像で4：3画面に切り換えられないことがあります。このようなテレビで映像を4：3画面でご覧になりたい場合。
- 現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性がとれていないため、画像に乱れが生じる場合があります。このようなときは、「切」に設定してください。

- プログレッシブ再生中はS映像出力、映像出力、DV出力ができません。

■視聴制限

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDビデオの再生を制限する設定をします。詳しくは、「視聴制限を設定する」（**42**ページ）をご覧ください。

■ディスク優先言語

画面や音声の言語を設定します。
選べる画面や音声の言語はディスクによって異なります。また、ここで記録されている言語を設定しても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。

●字幕言語

DVD再生時の字幕を設定します。工場出荷時は日本語に設定されています。

●音声言語

DVD再生時の音声を設定します。工場出荷時は英語に設定されています。

●メニュー言語

DVDのディスクに記録されているDVDメニューの言語を切り換えます。工場出荷時は日本語に設定されています。

- メニュー言語は、「日本語」→「スウェーデン語」→「オランダ語」→「英語」→「フランス語」→「ドイツ語」→「イタリア語」→「スペイン語」→「コード：AA…ZU」の順で切り換わります。
- 言語コードの言語名について詳しくは、「言語コード一覧表」（**133**ページ）で確認してください。

■Dolby Digital出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときや、深夜に視聴するときなどに設定します。
再生専用のDVDビデオのときのみ働きます。

設定	内容説明
ノーマル	記録されている音声のまま出力します。
シフト	ドルビーデジタル音声を再生したとき、音楽用CDの音声と同じ音量で聞こえるように、平均音量を上げます。

ヒント

- ディスク再生時、音声が正常に聞こえないときは、「ノーマル」にしてください。

■Dolby Digital出力

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

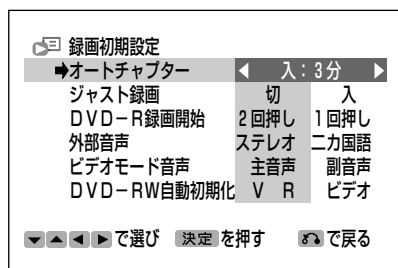
設定	内容説明
PCM	リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタル音声を2チャンネルに変換して再生します。ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないアンプやMDとデジタル接続する場合はこの設定を選んでください。
DD Digital	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選んでドルビーサラウンドが楽しめます。また、DTSデジタルサラウンド対応アンプなどと接続してDTS音声が楽しめます。

録画に関する設定（録画初期設定）

■接続した機器から録画をするときの音声設定など、録画に必要な設定をします。
　[　　] 表示は、工場出荷時の設定（初期設定）を表します。

■初期設定画面で「録画初期設定」を選びます。基本的な操作方法は、「初期設定画面の使いかた」（**114**ページ）をご覧ください。

録画初期設定		
➡オートチャプター	◀　入：3分　▶	
ジャスト録画	切	入
DVD−R録画開始	2回押し	1回押し
外部音声	ステレオ	二カ国語
ビデオモード音声	主音声	副音声
DVD−RW自動初期化	V　R	ビデオ

▼▲◀▶で選び　決定を押す　↩で戻る

■オートチャプター

ビデオモードで録画中に、チャプターを一定間隔で自動的に区切ります。
DVD-RW（VRモード）のディスクの場合は、チャプターを手動で区切ることができます（**86**・**97**ページ）。

設定	内容説明
切	録画中にチャプターを区切りません。
[入：3分]	録画中、約3分ごとにチャプターを区切ります。
入：5分	録画中、約5分ごとにチャプターを区切ります。
入：10分	録画中、約10分ごとにチャプターを区切ります。
入：15分	録画中、約15分ごとにチャプターを区切ります。
入：30分	録画中、約30分ごとにチャプターを区切ります。

ヒント

- ジャスト録画が「入」のときは、オートチャプター間隔が少し短くなります。（最大約1分）

■ジャスト録画

〈DVDに予約録画するとき〉

ディスクの空き時間不足でタイマー予約（**57**ページ）やGコード予約（**60**ページ）、ディスク予約（**62**ページ）をした番組が最後まで録画できないとき、予約録画開始前に自動的に録画モードを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため、録画する際に画質が落ちる場合があります。また、録画時間に対しディスクの空き容量が多めに残る場合があります。

設定	内容説明
[切]	ジャスト録画をしません。
入	ジャスト録画をします。

ご注意

- 外部自動録画のときは、ジャスト録画機能は働きません。
- 予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画モードでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。
- ディスクの空きが著しく足りないときは、ジャスト録画を設定しても録画しきれないことがあります。
- 録画モードを「EP」に設定したVRモードでのタイマー予約と「LP」のビデオモードでのタイマー予約では、ジャスト録画機能は働きません。

〈ビデオテープに予約録画するとき〉

ジャスト録画を「入」にしておくと、SP（標準）モードで予約録画中にSP（標準）モードのままではテープが不足する場合、自動的にEP（3倍）モードに切り換えて録画切れを防ぎます。

ご注意

- EP（3倍）モードで予約したときは働きません。また、外部自動録画では働きません。
- T-30、T-60、T-90、T-120のビデオテープ以外では、正しく動作しないことがあります。
- すべてEP（3倍）モード録画しても収まらない内容の場合は、ジャスト録画機能を使ってもテープが不足します。
- 再生したとき、SP（標準）モードからEP（3倍）モードに切り換わるところで多少ノイズが出ます。

録画に関する設定（録画初期設定）（つづき）

基本的な操作方法は、「初期設定画面の使いかた」（**114**ページ）をご覧ください。

■DVD-R録画開始

DVD-Rディスクに録画する場合、録画を始めるときに押すボタンの回数を設定します。

設定	内容説明
2回押し	録画●ボタンを押した後、もう一度録画●ボタンを押して録画を始めます。
1回押し	録画●ボタンを1度押して、録画を始めます。 録画●ボタンを押すと録画準備の動作を約10秒間行うため、その間の画像は録画されません。

■外部音声

本機内蔵のビデオからDVDへエディット録画するときや、本機につないだ外部機器からDVDに録画するとき、DVDに入力される音声を設定します。
内蔵ビデオや外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を含む映像を録画する場合、必ず「二カ国語」を選んでください。本機DVDにVRモードで録画した後は、再生するときに主音声と副音声を切り換えることができます。
二カ国語放送などを「ステレオ」に設定して録画すると、再生時に2つの音声（主音声・副音声）が重なって聞こえてしまいます。
ビデオモードで録画するときは、設定項目の「ビデオモード音声」で録画したい音声（「主音声」または「副音声」）をあらかじめ選びます。
接続する外部機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

設定	内容説明
ステレオ	ステレオ音声を記録します。
二カ国語	二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を記録します。

ご注意

- ドルビーデジタル出力の場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。
- DV入力端子には働きません。

■ビデオモード音声

ビデオモードで録画するときに、録画する番組が二カ国語放送の場合、主音声または副音声のどちらかの音声を記録するか設定します。録画時にはここで設定した音声のみが記録され、再生時に音声の切り換えはできません。

設定	内容説明
主音声	主音声で録画をします。
副音声	副音声で録画をします。

■DVD-RW自動初期化

未使用のDVD-RWディスクを入れると、自動的に初期化されます。VRモードまたはビデオモードで初期化するかを設定します。

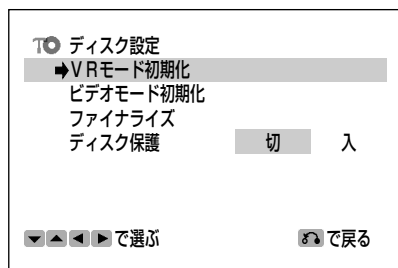
設定	内容説明
VR	VRモードで初期化をします。
ビデオ	ビデオモードで初期化をします。

ご注意

- Ver.1.1以上のDVD-RWディスクにのみ働きます。

ディスクに関する設定（ディスク設定）

■録画したディスクを初期化したり、ファイナライズやディスクの保護を設定することができます。
　□ 表示は、工場出荷時の設定（初期設定）を表します。

■初期設定画面で「ディスク設定」を選びます。基本的な操作方法は、「初期設定画面の使いかた」（**114**ページ）をご覧ください。
　ディスク設定画面を表示した後は、「➡」を設定する項目に合わせて▶を押します。「はい」／「いいえ」を◀または▶で選択し、決定ボタンを押します。

■VRモード初期化

DVD-RWディスクの内容をすべて消去して、VRモードで初期化します。保護（**100**ページ）しているタイトルやディスク予約（**62**ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように中身を確認してから行ってください。

設定	内容説明
はい	VRモードで初期化をします。
いいえ	初期化をしません。

ご注意

- ディスク保護を設定している場合は、初期化できません。
- DVD-Rディスクでは初期化できません。
- 初期化中は、ビデオの出力を見ることはできません。

■ビデオモード初期化

ディスクの内容をすべて消去して、ビデオモードで初期化します。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を誤って消去しないように中身を確認してから行ってください。

設定	内容説明
はい	ビデオモードで初期化をします。
いいえ	初期化をしません。

ご注意

- DVD-RW Ver.1.0のディスクは、ビデオモードでの初期化ができません。
- ディスク保護を設定している場合は、初期化できません。
- DVD-Rディスクでは初期化できません。
- 初期化中は、ビデオの出力を見ることはできません。

■ファイナライズ

ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生するときや、VRモードで録画したディスクが他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できないとき、ディスクをファイナライズして再生できるようにします。
DVD-Rディスクは、一度ファイナライズすると録画や編集などで、ディスクの内容を変更することができません。ご注意ください。

設定	内容説明
はい	ファイナライズをします。
いいえ	ファイナライズをしません。

ヒント

- ファイナライズの処理には、数分から約1時間必要です。（DVD-RW（VRモード）の場合、ディスクの空き容量が多いと処理に時間がかかります。）
- 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。
- 本機でファイナライズしたVRモードのディスクは、通常どおり録画や編集などをすることができます。
- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、自動的にディスクのメニューが作成されます。
- ファイナライズされたディスクをセットしたときは、ファイナライズが選択できません。
  他機でファイナライズされたDVD-RW（VRモード）をセットしたときは、「フィナライズ解除」表示となる場合があります。このときに、ファイナライズ解除を行うと、本機で録画や編集が可能になります。
- VRモードのディスクでは、フィアナライズの実行中、ファイナライズの中断をすることもできます。ただし、ファイナライズ終了約4分前になると、中断表示が消え、中断できなくなります。また中断表示が最初から表示されていない場合も中断できません。

ご注意

- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、録画や編集などをすることができません。
- DVD-RW対応でないDVDプレーヤーでは、VRモードのディスクは再生できません。
- ビデオモードで録画したディスクをファイナライズしても、DVDプレーヤーによっては再生できないものがあります。
- ファイナライズ中は、ビデオの出力を見ることはできません。

■ディスク保護

DVD-RW（VRモード）のディスクは、オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集や録画されたりしないように、ディスクを保護することができます。

設定	内容説明
切	ディスク保護が解除され、編集や録画をすることができます。
入	ディスクが保護され、編集や録画をすることができません。

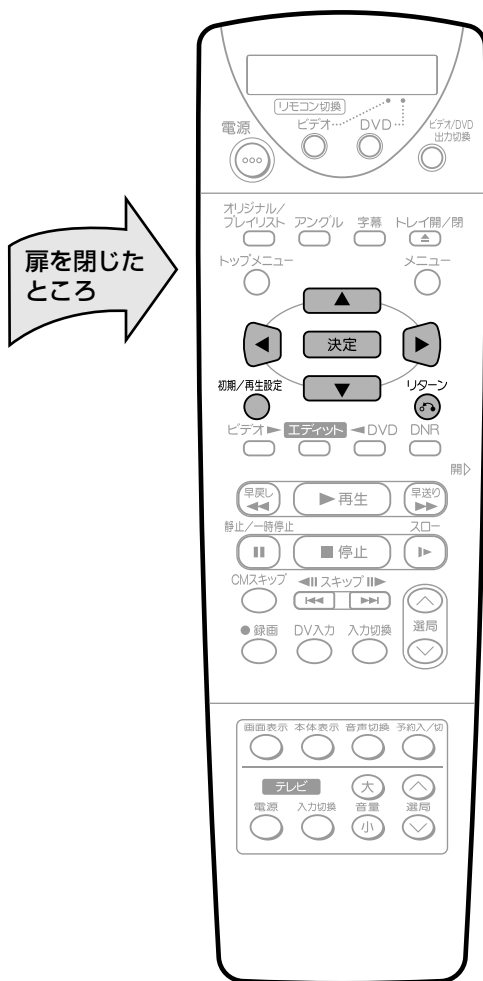
ヒント

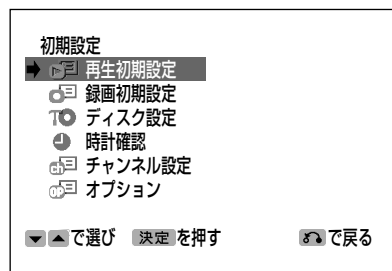
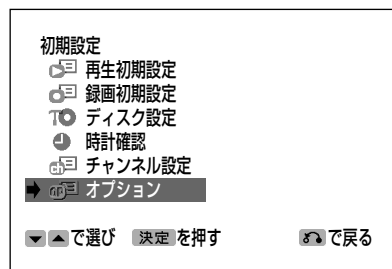
- ディスク保護を設定したディスクは、初期化ができません。
- タイトル数が多い場合など、ディスクの記録状態によっては処理に2分程時間がかかる場合があります。

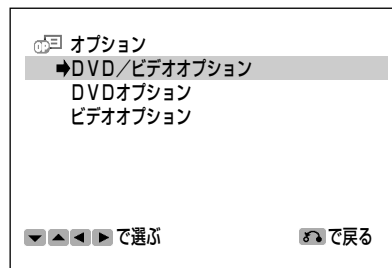
その他の設定（オプション）

■DVDやビデオに関するいろいろな設定をすることができます。
　［　　］表示は、工場出荷時の設定（初期設定）を表します。

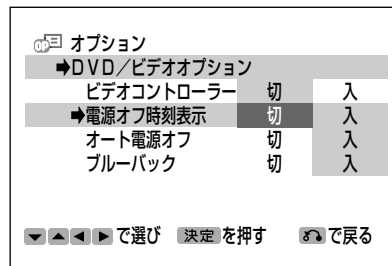
■「オプション」には、「DVD／ビデオオプション」、「DVDオプション」、「ビデオオプション」の3つがあります。

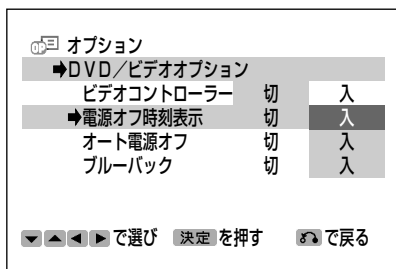
オプション画面の選択のしかた

1 停止中に 初期／再生設定 を押す

● 初期設定画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ で「オプション」を選び、決定 を押す

3 ▲ または ▼ で設定したい項目を選び、▶ を押す

● 「DVD／ビデオオプション」、「DVDオプション」、「ビデオオプション」から選びます。

4 ▲ または ▼ で項目を選ぶ

［例］「DVD／ビデオオプション」の「電源オフ時刻表示」を選んだとき

次ページの手順へつづく

5 ◀または▶で設定内容を選び、決定を押す

［例］「電源オフ時刻表示」を「入」にしたとき

設定が終了します。

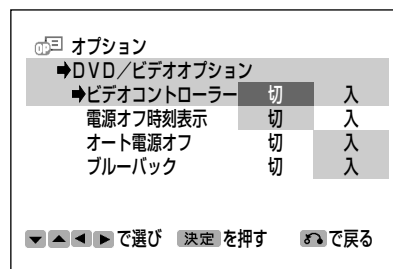
1つ前の画面に戻るときは

リターンボタンを押します。

設定画面を消すときは

初期／再生設定ボタンを押します。

基本的な操作方法は、「オプション画面の選択のしかた」（**120**ページ）をご覧ください。

DVD／ビデオオプション

■ビデオコントローラー

外部自動録画機能を使うときに、BS/CSチューナーのビデオコントローラー（ビデオマウス）を使用するか、しないかを設定します。

設定	内容説明
切	ビデオコントローラーを使用しない場合や、チューナーがビデオコントローラーに対応していない場合は、この設定にします。
入	ビデオコントローラーを使用する場合は、この設定にします。

■電源オフ時刻表示

電源が切れると本体ビデオ表示部の時刻表示が自動的に消えるように設定できます。

設定	内容説明
切	電源が切れると、自動的に本体ビデオ表示部の時刻表示も消えます。（ビデオ側が予約待機中を除く）
入	電源が切れても、本体ビデオ表示部の時刻表示は消えません。

■オート電源オフ

約3時間本機の操作を行わないと、自動的に電源が切れるように設定することができます。

設定	内容説明
切	自動的に電源は切れません。
入	約3時間操作をしないと自動的に電源が切れます。

■ブルーバック

放送のないチャンネルや放送が終了したチャンネルを選んだときに、テレビ画面のノイズ映像を自動的に青い画面に切り換えるように設定することができます。

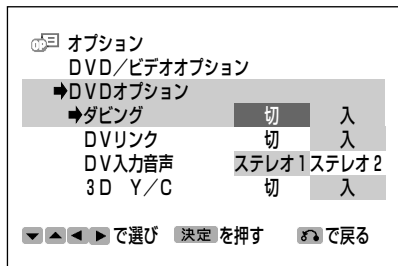
設定	内容説明
切	ブルーバックの機能が働きません。
入	ブルーバックの機能が働きます。

ご注意

- 外部入力より特殊再生している映像信号を入力した場合など、画面がブルーバックになることがあります。そのときは、「切」に設定してください。

その他の設定（オプション）(つづき)

基本的な操作方法は、「オプション画面の選択のしかた」(**120**ページ)をご覧ください。

DVDオプション

■ダビング

本機をDVD再生機として使用し、外部録画機器につないでダビングをする場合、本機の再生状態を示す画面表示を消すことができます。

設定	内容説明
切	画面表示をします。（画面表示の切り換えに合わせて表示します。）
入	画面表示をしません。（一部のエラーメッセージは表示されます。）

ヒント

- 本機をビデオ再生機として使用する場合の画面表示を消す操作は、リモコンの画面表示ボタンで行ってください。

■DVリンク

本機のDV入出力端子に接続したデジタルビデオカメラからの映像をDVDに録画するときに、本機のリモコンでデジタルビデオカメラを操作するように設定することができます。

設定	内容説明
切	「入」に設定して本機のリモコンで操作すると、デジタルビデオカメラや本機が正しく動作しないときに設定します。
入	本機のリモコンで、接続したデジタルビデオカメラを操作します。

ご注意

- デジタルビデオカメラによっては「入」に設定していても、正しく動作しない場合があります。
- 「入」に設定した場合、DV入力を選択した時は、ディスクの再生操作はできません。

■DV入力音声

デジタルビデオカメラの映像を取り込むときの音声を設定します。
ビデオカメラの音声がサンプリング周波数32kHz、12bitの場合のみ有効です。
接続した機器によっては、設定時にノイズが入ることがあります。

設定	内容説明
ステレオ1	録画したときの音声を取り込みます。
ステレオ2	アフレコなど、あとから追加した音声を取り込みます。

ご注意

- モノラル音声は、DV入力できません。
- 二重音声でも「主音声」、「副音声」は選べません。
- 接続するデジタルビデオカメラの出力音声が16bitに設定されていると、DV入力音声の設定は効果がありません。

■3D Y/C

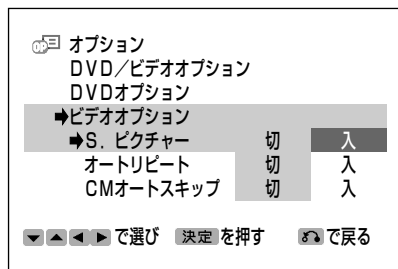
3次元Y/C分離回路を働かせるかどうかを設定します。この機能を働かせると、テレビ放送や外部入力などの映像信号をよりきれいに見たり、録画できるようになります。

設定	内容説明
切	電波の弱い信号の放送を受信して映像がおかしく見える場合や、外部入力に接続したビデオやゲーム機器の画像が乱れる場合は「切」にします。
入	より高画質に録画できます。

ご注意

- DV入力やS映像からの映像信号には働きません。

基本的な操作方法は、「オプション画面の選択のしかた」（**120**ページ）をご覧ください。

ビデオオプション

■S.ピクチャー

テープの再生画像をくっきりとさせる機能です。再生画像に合わせてお好みで設定してください。

設定	内容説明
切	編集時に、本機を再生側として使うときに設定します。
入	通常再生するときに設定します。

ご注意

- S.ピクチャーは、テープ再生時のみ働きます。（S-VHSソフト再生時には働きません。）

■オートリピート

1本のテープを自動的にくり返し、何度も再生する機能です。

テープが終わりまで行くと自動的にテープの始めまで巻き戻し、くり返し再生します。

設定	内容説明
切	この機能を使用しません。
入	テープをくり返し、何度も再生したいときに設定します。

ヒント

オートリピート再生をするときは

- 「入」に設定後、再生操作をしてください。
  再生を停止するときは、■停止ボタンを押します。

ご注意

- 一度設定すると、再設定するまで設定内容は変わりません。
- 早送り、巻戻し、ビデオサーチをしたときも、オートリピート機能が働きます。

■CMオートスキップ

本機で録画した番組が二重音声放送（洋画などの二カ国語放送）やモノラル放送のとき、ステレオ放送のコマーシャル（CM）を自動的にとばして見ることができます。（CMオートスキップサーチ）

二重音声放送 ● 二カ国語放送（番組欄表示 二） ● 音声多重放送（番組欄表示 多）	○
モノラル放送	○
ステレオ放送　（番組欄表示 S）	×

○がCMオートスキップサーチの働く放送です。

CMオートスキップサーチのしくみ

番組（モノラル／二重音声放送）	コマーシャル（ステレオ放送のみ）	番組（モノラル／二重音声放送）
再生　▶	この間ビデオサーチで早送り	▶　再生

設定	内容説明
切	この機能を使用しません。
入	CMオートスキップを使用するときに設定します。

ヒント

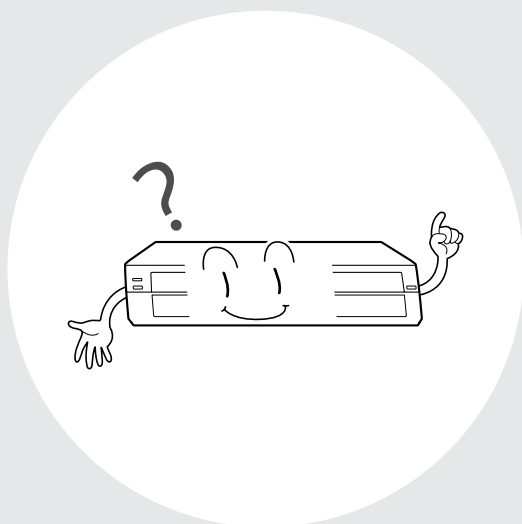
- CMオートスキップサーチはコマーシャル終了部分をわずかに過ぎたところから再生が始まります。
- コマーシャルが長く続いた場合、途中で解除され、再生に戻る場合があります。
- CMオートスキップを設定すると、再設定するまで設定内容は変わりません。
- ステレオ放送を録画したビデオテープを再生すると、番組の始まり部分でCMオートスキップサーチが働き、最大で5分間ぶんの内容がサーチされます。
- 市販のビデオソフトによってはCMオートスキップが働くことがあります。このようなときは、CMオートスキップを「切」に設定してください。

ご注意

- **104**ページのビデオからDVDへの編集（ダビング）中は働きません。
- CMオートスキップサーチは、当社のオートスキップサーチ機能の付いたビデオで放送を録画したビデオテープに限り働きます。

次のような場合には、正しく動作しないことがあります。

- 録画中に一時停止や停止をした部分。
- コマーシャル中にSP（標準）／EP（3倍）モードに切り換えた部分。

その他

■ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動作しないときに確認する項目などについて説明をしています。
また、用語の解説や索引を使って、知りたい情報などを探すこともできます。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お確かめください。なお、アフターサービスについては**128**ページをご覧ください。

■電源

電源が入らない
- 電源コードをコンセントに正しく接続してください。

設定内容が消える
- 停電や電源コードが抜かれて、電源が切れた状態で約1時間以上放置されたときは、設定内容が消えてしまいます。

■リモコン

リモコンで操作できない
- リモコンのリモコンコードと本機のリモコンコードが合っていることを確認してください。
- リモコンの使用範囲で操作してください。
- リモコンの電池を新しいものと交換してください。
- リモコンの操作モード「DVD／ビデオ」の切り換えを確認してください。

テレビなどが誤動作する
- ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

■映像

画面が映らない
- 接続が正しいか確認してください。
- テレビまたはAVアンプ側で本機をつないだ入力端子を選択してください。
- ビデオ／DVD出力切換は正しく切り換わっていますか。
- ディスクをクリーニングしてください。（**8**ページ）
- DVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。（**9**ページ）

外部入力や電波状態の悪い放送を受信したときに映像が乱れる（おかしく見える）
- 「DVDオプション」の「3D Y/C」を「切」に設定してご使用ください。（**122**ページ）

地域番号でチャンネル設定をしたが映らない
- オートスキャンでチャンネル設定するか、1局ずつチャンネルを個別設定してください。

選局ができない
- チャンネルスキップ設定をしていませんか。

画面が縦または横に伸びている
- お使いのテレビに合わせて画面の縦横比の設定を行ってください。（**115**ページ）
- 上記で設定できない場合は、テレビ側で画面サイズの設定をしてください。

外部映像入力時に画像が乱れる
- コピーガード入りの信号ではありませんか。コピーガード入りの信号は本機を通さず、直接テレビに接続してください。

■音声

スピーカーから音が出ない、音が歪む
- テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN」になっている場合はボリュームを上げてください。
- 一時停止またはスロー再生／早送り／早戻し中は、音声が出ません。
- DTS収録のDVD音声は、光デジタル音声出力端子のみから出力されます。本機のデジタル出力をDTS対応アンプ、またはデコーダーのデジタル入力端子へ接続してください。
- 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。
- 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。
- ディスクをクリーニングしてください。(**8**ページ)
- ディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど、音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。
- DVDが停止中のときにズームボタンを押すと、一時音声が途切れたり、画面表示が消えたりする場合があります。

二カ国語の音声が切り換えられない
- ビデオモードで録画されたものは再生中に切り換えできません。(**118**ページ)
- デジタル出力の音声切換はできません。

Hi-Fi音声が出ない
- 音声表示が左右表示になっていますか。
- トラッキング調整が、ズレていませんか。(**49**ページ)

■表示

テレビ画面の表示(チャンネル表示など)が表示されない
- 画面表示が「切」になっていませんか。(**35**・**50**ページ)
- DVDの専用出力端子でご覧になる場合にも、出力切換を「DVD出力」にしてください。

ディスクの再生で画面表示が出ない
- 「DVDオプション」の「ダビング」が「入」に設定されていませんか。(**122**ページ)
  「入」に設定されているときは、強制的に再生時の画面表示を「切」にしています

電源「切」時、ビデオ表示部に時刻が表示されない
- 「DVD／ビデオオプション」の「電源オフ時刻表示」が「切」になっていませんか。(**121**ページ)

ビデオテープを再生してもカウンターが動かない
- テープの未録画部分では、カウンターの数字は変わりません。(未録画部分を探す目安としてお使いになれます。)(**51**ページ)

■ DVD 再生

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう
- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。
- ディスクをクリーニングしてください。(**8**ページ)
- DVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。(**9**ページ)
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。

再生できない
- ディスクをクリーニングしてください。(**8**ページ)
- ディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。
- DVDのリージョン番号が一致しているか確認してください。(**9**ページ)
- 本機内部の結露を除去してください。(**2**ページ)
- PAL/SECAM方式のディスクは再生できません。
- DV入力を選んでいるとき、「DVリンク」が「入」に設定されていると、ディスクの再生ができません。(**122**ページ)

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない
- ■停止ボタンを押してから、もう一度再生してください。
- 一度電源を「切」にし、再度電源を入れてみてください。

マークが画面に出る
- ディスクの情報を読み書きしていますので、もうしばらくお待ちください。

DVDプレーヤーで再生できない
- ビデオモードのディスクの場合は、ファイナライズを行ってください。(**11**・**119**ページ)
- 再生できないDVDプレーヤーがあります。(**11**ページ)
- VRモードのディスクは、RW対応のDVDプレーヤーでないと再生できません(ファイナライズをする必要があることもあります)。(**11**・**119**ページ)

DVD映像をビデオに録画したり、ビデオ機器を通して再生すると再生画面が乱れる
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクをビデオ機器に通して再生したり、ビデオに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

BSデジタル放送などのワイド(16：9)映像を「ビデオモード」で録画し、本機とテレビをD映像端子で接続して再生したとき、テレビが自動でワイド画面に切り換わらない
- テレビ側で、画面サイズを手動で切り換えてお楽しみください。

次ページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

■ DVD 録画

録画／予約録画／外部自動録画ができない
- 録画用のディスク(DVD-R/RW)をセットし、ディスク判別(LOAD)が終了したことを確認してから、録画／予約録画／外部自動録画を行ってください。

録画用ディスクに傷や汚れなどがあったときは
- ディスクに傷や汚れなどがあり録画できない部分では、録画が一時中断される場合があります。再度録画が開始されると、その開始部分が別のタイトルとして録画されます。ディスクが録画できない状態のときは、排出されます。
- ビデオモードで録画している場合、録画が中断された地点より前の部分の内容が最大で約60秒ぶん損なわれることがあります。

録画ができない
- 録画ディスクの空き時間は足りているか確認してください。(**35**ページ)
- ディスクが保護されていないか確認してください。(**119**ページ)
- オリジナルのタイトル数が99になっていないか、ディスク情報で確認してください。(**35**ページ)
- チャプター数が200になっていないか、ディスク情報で確認してください。(**35**ページ)
- 録画が禁止された映像を録画しようとしていないか確認してください。(**53**ページ)
- 予約待ちのあいだ、または予約録画中に停電がなかったか確認してください。
- 予約録画の時間が重なっていないか確認してください。(**59**ページ)

DVD-RWディスクにビデオモードで録画できない
- Ver.1.0のDVD-RWディスクにはビデオモードでの録画はできません。Ver.1.1以降のディスクを使用してください(バージョンはジャケットの裏面などに表示されています)。(**10**・**52**ページ)

録画したが何も録画されていない
- 放送のない(放送が終了している)チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態が録画される場合があります。

■ビデオ再生・録画

再生画面がきれいに映らない
- 手動でトラッキング調整をしましたか。(**49**ページ)
- ビデオテープにキズがついていませんか。他のビデオテープを再生して確かめてください。

テレビ放送はきれいに映るのにビデオテープを再生するとザラザラした画面になる
- 使用するにつれて、しだいにこのような症状が出る場合があります。(**7**ページ)

3倍モードで記録されたビデオテープを再生したときに、映像が上下に乱れる
- 手動でトラッキング調整をしてください。
- 手動でトラッキング調整しても乱れるときは、再生ボタンを2秒間押してください。(**49**ページ)

ビデオサーチ中に画面に横じまが出る
- ビデオサーチを始めるときや、再生に戻したとき一時的に画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

早送り・巻戻しのスピードが遅い
- T-60、T-90、T-120以外のビデオテープを使っていませんか。このとき早送り・巻戻しのスピードが遅くなることがあります。

録画ボタンを押すと、ビデオテープが出る
- ビデオテープのツメが折れていませんか。(**23**ページ)

ビデオテープが取り出せない
- 予約待機状態になっていませんか。

当社製のビデオデッキのリモコンで本機が動作してしまう
- 本機またはビデオデッキのリモコンコード(信号)を切り換えてご使用ください。

■ DV 接続

DV接続で信号が出力できない
- DV入力を選んでいるときは再生映像が出力されませんので、他のチャンネルを選んで再生してください。
- プログレッシブ再生を行っているときは、DV出力ができません。(**116**ページ)

DV入出力端子に接続したカメラの映像が映らない／音が出ない／誤動作する
- コピーガードが入っている映像は見られません。
- 接続を確認してください。
- 一度電源を「切」にし、再度電源を入れてみてください。
- DVケーブルを接続しなおしてください。
- 「DVリンク」を「切」にしてみてください。(**122**ページ)
- 「DV入力音声」を切り換えてください。(**122**ページ)

DV入出力端子に接続したカメラが本機のリモコンで操作できない
- 「DVリンク」を「入」にしてください。(**122**ページ)
- 接続したカメラの機種によっては、操作できないものもあります。

ヒント
- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このときは、本体底面にあるリセットボタンを先の細い棒状のもので押すか、一度電源プラグをコンセントから抜き、約5時間後、再度コンセントに差し込んで電源を入れてください。

エラーメッセージについて

ディスクや操作に異常があった場合は、テレビ画面や本体表示部に次のような表示がでます。

「テレビ画面」 このディスクは再生できません
「本体DVD表示部」 - - - - -

■ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てディスクトレイが自動的に出てきます。
⟶ **ディスクを確かめて入れなおしてください。**

「テレビ画面」 地域番号が違います

■リージョン番号が「ALL」以外、または「2」を含まないDVDビデオディスクを入れたとき。
⟶ **ディスクを確かめて入れなおしてください。**

「テレビ画面」 ディスクが入っていません
「本体DVD表示部」 NO DISC

■ディスクトレイにディスクが入っていないとき。
⟶ **ディスクを確かめて入れなおしてください。**

「テレビ画面」 この操作はできません

- 誤った操作をしたとき。
- この取扱説明書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

「テレビ画面」 つづき再生の情報が登録されていません

■つづき再生の情報が登録されていないディスクで再生▶ボタンを押したとき。

「テレビ画面」 ディスクが保護されてます

■ディスク保護がされているディスクに録画や編集をしようとしたとき。
⟶ **ディスク保護を解除するか、別の録画用ディスクを入れなおしてください。**

「テレビ画面」 ディスクが修復できませんでした

■録画中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、その修復ができなかったとき。

「テレビ画面」 ファイナライズできませんでした

■ディスクに傷、汚れなどがあるとき。
⟶ **ディスクを確かめて入れなおしてください。**

「テレビ画面」 この映像は録画が許されていません

■コピーガード信号が入った映像が入力されたとき。
⟶ **録画できません。**

「テレビ画面」 これ以上タイトル録画できません

■ディスクにタイトルが99タイトル録画されているとき。
⟶ **不要なタイトルを消去してください。**
■チャプターマークが200あるとき。
⟶ **不要なチャプターを消去してください。**

「テレビ画面」 このディスクは録画できません

■本機で録画できないディスク(CD-Rなど)や傷、汚れのあるディスクがセットされているとき。
⟶ **録画用ディスクをセットしなおしてください。**

「テレビ画面」 DVカメラにテープが入っていません

■DV接続したデジタルビデオカメラにテープが入っていないとき。
⟶ **デジタルビデオカメラにテープを入れてください。**

「テレビ画面」 初期化できませんでした

■ディスクに傷、汚れなどがあるとき。
⟶ **ディスクを確かめて入れなおしてください。**

「テレビ画面」 ディスクが一杯です
「本体DVD表示部」 DISC FULL

■ディスクの空き容量がないとき。
⟶ **● 不要なタイトルを消去してください。**
● 空き容量のあるディスクを入れてください。

「テレビ画面」 この映像はこのディスクでは録画できません

■「1回録画可」の放送をCPRMに対応していないディスクで録画しようとしたとき。
⟶ **VRモードで初期化したDVD-RW Ver.1.1以降のCPRM対応ディスクを入れてください。**

「テレビ画面」 DVカメラが接続されていません

■デジタルビデオカメラを接続せずにDV入力にしたとき。
⟶ **デジタルビデオカメラを接続し、もう一度DV入力に設定してください。**

「本体DVD/ビデオ表示部」 FULL

■予約の件数が8番組あるとき。
⟶ **不要な予約を消去してください。**

「本体DVD/ビデオ表示部」 ERROR

■本機の時計合わせをしていないときに予約設定を行ったとき。
⟶ **時計合わせを行い、再度予約してください。**
■本機に設定されていないチャンネルで予約設定を行ったとき。
⟶ **予約チャンネルを確認して、再度設定してください。**

「テレビ画面」 ディスク修復中…
「本体DVD表示部」 RESTORE

■停電などにより、ディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など。
⟶ **ディスクの修復が完了するまでお待ちください。**

「テレビ画面」 規定外のディスクです
ディスクを取り出してください

■規定外のディスクや傷などにより、録画・再生できないディスクが入っています。
⟶ **ディスクを取り出してください。**

「本体DVD表示部」 Err 1

■本体後面の冷却ファンに異状があるとき。

「本体DVD表示部」 Err 2

■ディスク修復できなかったとき。

保証とアフターサービス

●よくお読みください

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取ってください。
- 保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から1年間です。
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、VTR一体型DVDビデオレコーダーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(**130**ページ)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(**124**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料·部品代·出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

ご連絡していただきたい内容

品　　　名：VTR一体型DVDビデオレコーダー
形　　　名：DV-RW100
お買いあげ日：(年月日)
故障の状況：(できるだけ具体的に)
ご　住　所：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お　名　前：
電 話 番 号：
ご訪問希望日：

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日·販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　月　日	電話(　　)　—

ご自分での修理はしないでください。
たいへん危険です。

美しい画面を見るための点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。

- ヘッドやテープの駆動部分が汚れたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。
- 内部のピックアップレンズが汚れたり、ディスクの駆動部分が摩耗したりするとディスクの再生ができません。

使用環境によって異なりますが、美しい画面でご覧いただくためには、およそ1000時間を目安に点検(清掃、一部部品交換)されることをおすすめします。詳しくは、お買いあげの販売店にご相談ください。

愛情点検

長年ご使用のVTR一体型DVDビデオレコーダーの点検を!
こんな症状はありませんか?
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検·修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕　様

品名　VTR一体型DVDビデオレコーダー
形名　DV-RW100
信号方式　NTSC方式

■DVD

記録可能ディスク　DVD-RW
DVD-R
記録フォーマット　DVD-Video Recording：VRモード
DVD-VIDEO：ビデオモード
映像記録　量子化8ビット
映像サンプリング周波数
13.5MHz
映像圧縮方式　MPEG
音声記録　量子化16ビット
音声サンプリング周波数
48kHz
音声圧縮方法　Dolby Digital
記録時間（4.7GBディスク使用時の目安時間）
DVD-RW（VRモード）
FINE：約60分
SP：約120分
LP：約240分
EP：約360分
DVD-RW（ビデオモード）、DVD-R
FINE：約60分
SP：約120分
LP：約240分
再生可能ディスク　DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R、音楽用CD、ビデオCD
CD-R/CD-RW（音楽用CDフォーマット・ビデオCDフォーマット）

■ビデオ

録画方法　輝度信号：FM変調方式
カラー信号：低域変換直接記録方式
テープ速度　SP（標準）モード時：33.4mm／秒
EP（3倍）モード時：11.1mm／秒
使用ビデオテープ　VHSタイプビデオカセットテープ
録画再生時間　最大9時間（T-180使用時）
巻戻し／早送り時間　約68秒、高速時 約43秒
（T-120使用時、当社測定条件での所要時間）
Hi-Fiサウンド特性　ダイナミックレンジ：90dB
周波数特性：20Hz～20kHz
ワウフラッター：0.007%

■チューナー

受信チャンネル　VHF：1～12ch
UHF：13～62ch
CATV：C13～C63ch

■タイマー

プログラム数　1年8プログラム（DVD、ビデオとも）
時計　クォーツロック、12時間デジタル表示
停電保証時間　約1時間

■入出力端子

アンテナ入出力　VHF／UHF1軸
75ΩF型コネクター
DVD／ビデオ共用端子
映像入力　入力1（後面）、入力2（前面）の2系統
ピンジャック：1Vp-p（75Ω不均衡）
映像出力　1系統
ピンジャック：1Vp-p（75Ω不均衡）
S映像入力　入力1（後面）、入力2（前面）の2系統
4ピンミニDIN、
Y＝1Vp-p（75Ω不均衡）
C＝0.286Vp-p（75Ω不均衡）
音声入力　入力1（後面）、入力2（前面）の2系統
ピンジャック：2Vrms（47kΩ）
音声出力　1系統
ピンジャック：2Vrms（1kΩ）
DVD専用端子
S1／S2映像出力　4ピンミニDIN、
Y＝1Vp-p（75Ω不均衡）
C＝0.286Vp-p（75Ω不均衡）
D1／D2映像出力　Y：1.0Vp-p（75Ω不均衡）
CB、CR：0.7Vp-p（75Ω不均衡）
アナログ音声出力　ピンジャック：2Vrms（1kΩ）
デジタル音声出力　光コネクタ：角形光ジャック
DV入出力　4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）1系統

■その他

定格電圧、周波数　AC100V、50／60Hz
消費電力　40W
待機時消費電力　2.8W（時刻表示点灯時）
0.7W（時刻表示消灯時）
使用温度範囲　5℃～35℃
使用湿度範囲　10%～80%（結露のないこと）
外形寸法　幅430mm×奥行346mm
×高さ100mm
質量　約6.2kg

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

※ 今後、各社から発売予定の高速記録用DVD-R/RWディスクを使用した場合、通常の録画・再生（1倍速）は可能です。
本機は高速記録には対応していません。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ……………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（02.12）

用語の解説

アルファベット

CATV
ケーブルテレビ(有線放送)のことです。

CMオートスキップサーチ
ステレオ以外の放送録画テープでコマーシャルなど(ステレオ部分)を再生時にオートスキップ(サーチ)させる機能です。

CMスキップ
1回押すと30秒ぶんの映像をとばして見ることができます。

Dolby Digital 出力レベル
DVDビデオディスクの再生で、ドルビーデジタル音声の平均音声を上げるかどうかを設定する機能です。

DTS
デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

VBRコントロール
Variable Bit Rateコントロールの略で、動きの速い部分や色の移り変わりの激しいところなどの複雑な映像には符号量を多く割り当てて、逆の場合には少なく割り当てるというようにビットレート(一定時間に転送する符号量)を可変で制御することです。

あ行

インターレース(とび越し走査)
テレビは525本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。(この1画面を1フィールドと言います。)次に偶数番目の走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(この画像を1フレームと言います。)を作っていく方式のことです。

か行

コピーガード(コピー制御信号)
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

さ行

視聴制限(パレンタルレベル)
DVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。

■一般的な視聴制限レベルの設定について

レベル1を設定すると
成人指定ディスクと一般向けディスク(R指定含む)が再生できません。

レベル2～3を設定すると
成人指定ディスクと一般向け制限付き(R)指定ディスクが再生できません。

レベル4～7を設定すると
成人指定ディスクが再生できません。
- レベル4～7のディスクは中学生以下が見ることのできない内容です。

レベル8に設定すると
すべてのディスクが制限無しで再生できます。

「切」に設定すると
視聴制限レベルを「切」にします。

字幕言語
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめます。

ジャストクロック機能(自動時刻合わせ)
放送局(NHK教育)の時報音「ピッピッピッポーン」を利用して、1日3回(朝7時、昼12時、夜7時)本体時計の3分以内の誤差を自動的に修正する機能です。
(上記の時間帯に時報音が放送されていない場合は、本体時計は修正されません。)

初期設定
本機でディスクやビデオテープを楽しむための設定をします。

スキップ
ディスク再生中のチャプター(トラック)の先頭に戻る、または次のチャプターに進む機能です。

ズーム
テレビ画面で見ているディスクの映像の一部を、拡大表示する機能です。

た行

タイトル
ディスクで録画した番組の1つをタイトルといいます。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

チャンネルスキップ
本体のチャンネル選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

次ページへつづく

用語の解説（つづき）

ディスクメニュー
DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。

デジタルガンマ
暗部の階調を補正し、暗いシーンでもディスクの映像を見やすくする機能です。

デジタルスーパーピクチャー
ディスクの映像を細部までくっきりと再現する機能です。

トップメニュー
DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。DVDビデオディスクによっては、トップメニューのことを「タイトル」と呼んでいるものもあります。

トラッキング調整
テープ再生時の画面にノイズが出たとき、そのノイズを少なくして最適な画面に調整することです。

トラック
音楽用CDなどの各曲をトラックといいます。

ドルビーデジタル（5.1ch）
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

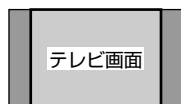
ドルビーバーチャルサラウンド
テレビやオーディオ機器などの2つのフロントスピーカーだけでも、迫力のある立体音声が楽しめるサラウンド機能です。

は行

パンスキャン

4：3　PS

4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。

テレビ画面

ピックアップレンズ
ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。

吹き替え音声
DVDビデオディスクの特長の一つで、オリジナルの音声（英語など）と吹き替えの音声（日本語など）を一枚のディスクに収録し、切り換えて再生音声を楽しめる機能です。

ブルーバック
放送のないチャンネルや放送が終了したチャンネルを選んだときに、不快なノイズ映像を自動的にブルー（青色）画面に切り換える機能です。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCDの再生方式の一つで、再生したときに画面に表示される情報を対話形式で選ぶことができる機能です。

プログレッシブ
とび越し走査（インターレース）しないで1フィールド目で525本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ま行

マルチアングル
DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。（マルチ音声記録のディスクで楽しめる機能です。）

ら行

リージョン番号（再生可能地域番号）
DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。

リニアPCM音声
音楽用CDに用いられている信号記録方式です。

リモコンコード
本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコンコードは、「RC1」「RC2」の2種類があります。

レターボックス

4：3

4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

DVDの録画や再生時の時間表示について

DVDの録画や再生時間は、実際の録画・再生時間より0.1%程度短く表示されます。放送などの映像では、1秒あたり29.9フレームの映像が送られてきます。本機では便宜上30フレームを1秒として計算しています。

このため、約0.1%時間が短く表示されます。

例えば、1時間録画を行うと、実際に1時間分録画が行われます。しかし、本機の時間表示は、「60分×0.999＝59.94分＝59分56秒」となります。

言語コード一覧表

記号	言語名	記号	言語名	記号	言語名	記号	言語名
AA	アファル語	GA	アイルランド語	MI	マオリ語	SO	ソマリ語
AB	アブバジア語	GD	スコットランドゲール語	MK	マケドニア語	SQ	アルバニア語
AF	アフリカーンス語	GL	ガルシア語	ML	マラヤーラム語	SR	セルビア語
AM	アムハラ語	GN	グアラニ語	MN	モンゴル語	SS	シスワティ語
AR	アラビア語	GU	グジャラート語	MO	モルダビア語	ST	セストゥ語
AS	アッサム語	HA	ハウサ語	MR	マラータ語	SU	スンダ語
AY	アイマラ語	HI	ヒンディ語	MS	マレー語	SV	スウェーデン語
AZ	アゼルバイジャン語	HR	クロアチア語	MT	マルタ語	SW	スワヒリ語
BA	バジキール語	HU	ハンガリー語	MY	ミャンマー語	TA	タミール語
BE	ベラルーシ語	HY	アルメニア語	NA	ナウル語	TE	テルグ語
BG	ブルガリア語	IA	国際語	NE	ネパール語	TG	タジク語
BH	ビハーリー語	IE	国際語	NL	オランダ語	TH	タイ語
BI	ビスラマ語	IK	イヌピック語	NO	ノルウエー語	TI	ティグリニャ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IN	インドネシア語	OC	プロバンス語	TK	トゥルクメン語
BO	チベット語	IS	アイスランド語	OM	アファン語（オロモ語）	TL	タガログ語
BR	ブルトン語	IT	イタリア語	OR	オリヤー語	TN	セツワナ語
CA	カタロニア語	IW	ヘブライ語	PA	パンジャブ語	TO	トンガ語
CO	コルシカ語	JA	日本語	PL	ポーランド語	TR	トルコ語
CS	チェコ語	JI	イディッシュ語	PS	パシュトー語	TS	ツォンガ語
CY	ウェールズ語	JW	ジャワ語	PT	ポルトガル語	TT	タタール語
DA	デンマーク語	KA	グルジア語	QU	ケチュア語	TW	トウィ語
DE	ドイツ語	KK	カザフ語	RM	ラエティ＝ロマン語	UK	ウクライナ語
DZ	ブータン語	KL	グリーンランド語	RN	キルンディ語	UR	ウルドゥ語
EL	ギリシャ語	KM	カンボジア語	RO	ルーマニア語	UZ	ウズベク語
EN	英語	KN	カンナダ語	RU	ロシア語	VI	ベトナム語
EO	エスペラント語	KO	韓国語	RW	キニャルワンダ語	VO	ボラピュク語
ES	スペイン語	KS	カシミール語	SA	サンスクリット語	WO	ウォロフ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	SD	シンド語	XH	コーサ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	SG	サンゴ語	YO	ヨルバ語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SH	セルビアクロアチア語	ZH	中国語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SI	シンハラ語	ZU	ズール語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SK	スロバキア語		
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SL	スロベニア語		
FR	フランス語	LV	ラドビア語、レット語	SM	サモア語		
FY	フリジア語	MG	マダガスカル語	SN	ショナ語		

索引

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

英数字

● 製品についてのお問合せは…		
お客様相談センター	東日本相談室 TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室 TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**
≪受付時間≫ 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）		

● 修理のご相談は…	**130**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。
● シャープホームページ	**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

TINS-A511WJZZ Ⓑ
Printed in Malaysia

03P01-MMK